

Pioneer

7.0型ワイドAVシステムTV/CDプレーヤー

AVX-P7CD

取扱説明書

carrozeria

目次 6ページ

安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意 (警告を含む) しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止 (やってはいけないこと) の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。



警告

[使用方法]

運転中に操作をしない



禁止

画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。

走行中にテレビやビデオを見ない



禁止

運転者がテレビやビデオを見る時は、必ず安全な場所に車を停車させてください。走行中にテレビやビデオを見ると前方不注意となり、交通事故の原因となります。

警告

[異常時の処置]

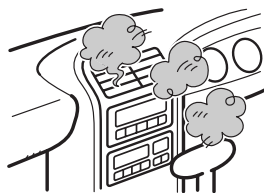
故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



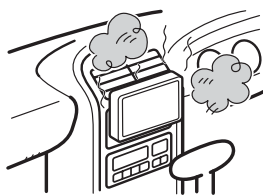
必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

⚠ 注意

[使用方法]

モニター部にヒーターの熱などを当てない



禁止

モニター部にエアコンのクーラーの冷気やヒーターの熱を当てないでください。そのままご使用になると故障や火傷の原因となることがあります。

目次

はじめに はじめに

- 1 上手にお使いいただくために 8
- 2 本機の各部のなまえ 10
- 3 リモコンの準備 11
- 4 モニターを立ち上げる /
角度を調節する / 収納する 12
- 5 本機と組み合わせるメインユニットについて 14
- 6 各部のなまえ 15
- 7 ナビゲーションシステムと
組み合わせた場合 16

IP-BUS モード

ここだけで ここだけ読めばすぐ使えます

- 1 CDをセットする 18
CDをセットする
CDを取り出す
- 2 CDのふだんの操作 20
曲を選ぶ
早送り/早戻しをする
音量を調節する
- 3 テレビのふだんの操作 22
バンドを選ぶ
放送局を選ぶ
音量を調節する

CDを聞く CDを聞く

- 1 モードの切り換えかた 24
- 2 同じ曲を繰り返し聞く 25
- 3 いつもと違う曲順で聞く 25
- 4 聞きたい曲をさがす 26
- 5 CD再生を一時停止する 27
- 6 CDの音質を調整する 28
- 7 CDのタイトルを表示させる 29

TVを見る テレビを見る

- 1 モードの切り換えかた 30
- 2 複数のチャンネルを自動的に記憶させる 31

- 3 記憶させたチャンネルを呼び出す 32
- 4 2カ国語放送の副音声を聞く 33

便利な機能 便利な機能

- 1 ビデオを見る 35
- 2 映像だけを切り換える 37
- 3 音声だけを切り換える 39
- 4 チャンネルを確認する 40

ADD-ON モード

ここだけで ここだけ読めばすぐ使えます

- 1 聞きたいソース (音源) を選ぶ 42
- 2 CDをセットする 44
CDをセットする
CDを取り出す
- 3 CDのふだんの操作 46
曲を選ぶ
早送り/早戻しをする
- 4 テレビのふだんの操作 48
バンドを選ぶ
放送局を選ぶ
- 5 マルチCDのふだんの操作 50
CDを選ぶ
曲を選ぶ
早送り/早戻しをする
- 6 マルチMDのふだんの操作 52
MDを選ぶ
曲を選ぶ
早送り/早戻しをする

CDを聞く CDを聞く

- 1 同じ曲を繰り返し聞く 54
- 2 いつもと違う曲順で聞く 54
- 3 CD再生を一時停止する 55

TVを見る テレビを見る

- 1 複数のチャンネルを自動的に記憶させる 56
- 2 記憶させたチャンネルを呼び出す 57

C O N T E N T S

マルチCD

マルチCDでCDを聞く

(別売のマルチCDを組み合わせたときのみ)

- 1 同じ曲やCDを繰り返し聞く 58
- 2 いつもと違う曲順で聞く 59
- 3 CD再生を一時停止する 59
- 4 CDの音質を調整する 61

マルチMD

マルチMDでMDを聞く

(別売のマルチMDを組み合わせたときのみ)

- 1 同じ曲やMDを繰り返し聞く 62
- 2 いつもと違う曲順で聞く 63

音声と映像

音声と映像の便利な機能

- 1 映像だけを切り換える 64
- 2 音声だけを切り換える 65
- 3 チャンネルを確認する 66

共通

TVの設定

テレビの設定

- 1 設定メニューの切り換えかた 68
- 2 映像の色や鮮明さを調節する 69
- 3 ビデオの入力を設定する 70
- 4 音声をFMモジュレーターで出力する 71
- 5 テレビアンテナの設定をする 72
- 6 2カ国語放送の副音声を聞く 73

その他

その他の機能と付録

- 1 液晶画面の明るさを自動的に調整する 74
- 2 液晶画面の明るさを調整する 75
- 3 モニター立ち上げの設定をする 75
- 4 ワイド画面の拡大のしかたを切り換える 76
- 5 リアモニターを切り換える 78
- 6 モニターの正しい使いかた 80
- 7 CDの正しい使いかた 82
- 8 故障かな?と思ったら 84
- 9 こんなメッセージが表示されたら 87
- 10 本機のリセットについて 88
- 11 保証書とアフターサービス 89
- 12 おもな仕様 90

すぐに使いたいときは、
ここをお読みください。

ここ
だけ
読めば
すぐ
使え
ます

はじめに

IP-BUS モード

CDを聞く

テレビを見る

便利な機能

ADD-ON モード

CDを聞く

テレビを見る

マルチCDでCDを聞く

マルチMDでMDを聞く

音声と映像の便利な機能

共通

テレビの設定

その他の機能と付録

安全走行のために

本機は、パーキングブレーキのON/OFFを検知しており、走行中にテレビやビデオの映像を見ることができないようになっています。(走行中は次のようなメッセージが表示されます。) また、走行中に設定メニュー (☞ TVの設定 ① 68 ページ) を操作しないでください。

例：テレビを見ようとしたとき



このようなメッセージは、安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけると解除されます。

組み合わせるカーステレオについて

本機は組み合わせるカーステレオによって、一部の操作が異なります。

(1) パイオニア製のAVマスターユニットと組み合わせる場合

本機は、IP-BUS AV MASTERモードで使用します。

CDの操作は、AVマスターユニットで行います。

テレビの操作は、本機とAVマスターユニットで行います。

(「本機と組み合わせるメインユニットについて」(☞ はじめに ⑤ 14 ページ) もお読みください。)

(2) パイオニア製のIP-BUS入力付きメインユニットと組み合わせる場合

本機は、IP-BUS MAIN UNITモードで使用します。

CDの操作は、メインユニットで行います。

テレビの操作は、本機とメインユニットで行います。

(「本機と組み合わせるメインユニットについて」(☞ はじめに ⑤ 14 ページ) もお読みください。)

(3) お手持ちのFM付きカーステレオと組み合わせる場合

本機は、FM MODULATORモードで使用します。

操作は、すべて本機で行います。

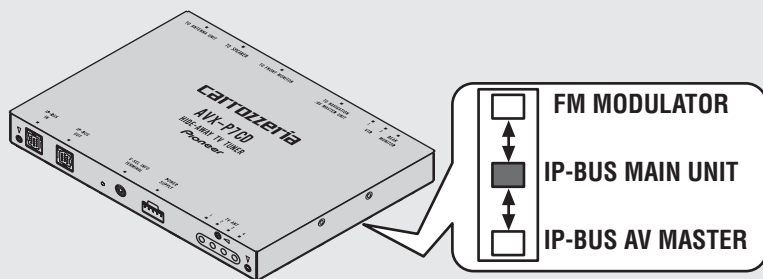
音声は、カーステレオのラジオのFMから出力されます。

モードスイッチの切り換えについて

組み合わせるカーステレオに合わせて、TVチューナーの底面にあるモードスイッチをボールペンの先などで切り換えてください。

モードスイッチを切り換えたときは、リセットボタンを押してください。

(※ その他 ⑩ 88 ページ)



バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。車のエンジンがかかっていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。

本書の見かた

本機は切り換えたモードによって操作方法が異なるため、下記のように分けて説明しています。切り換えたモードに合った項目をお読みください。

IP-BUS AV MASTER モード、IP-BUS MAIN UNIT モード

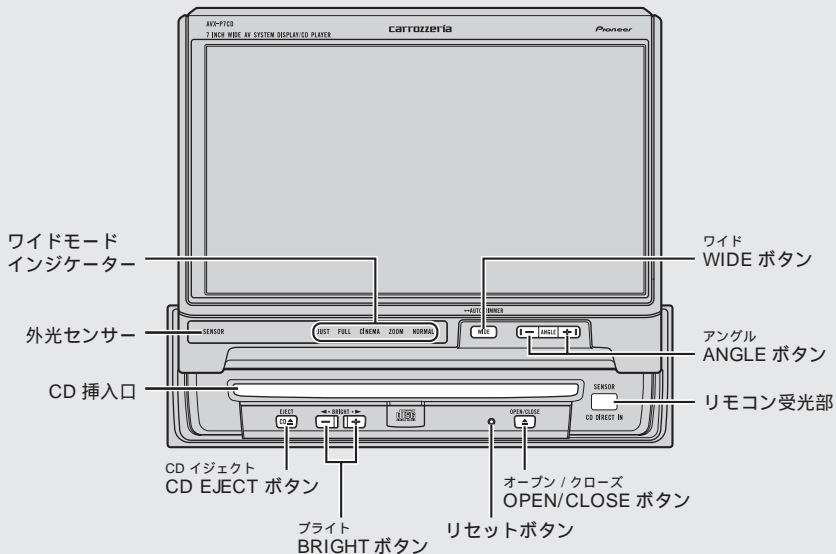
IP-BUSモードおよび共通の項をお読みください。

IP-BUS AV MASTERモード、IP-BUS MAIN UNITモードをまとめてIP-BUSモードとして説明しています。

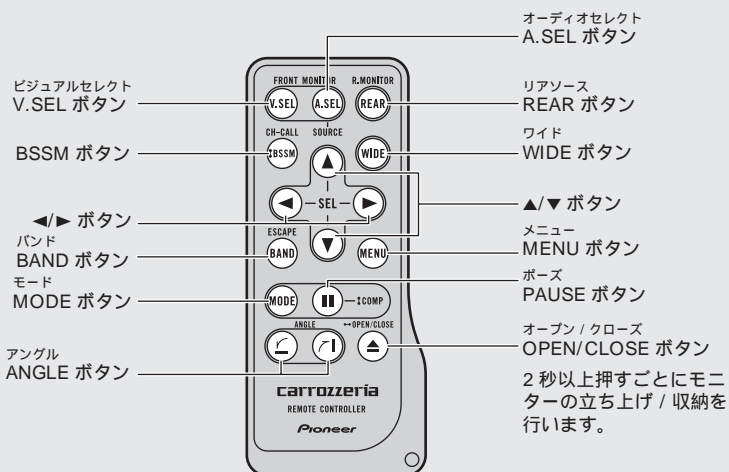
FM MODULATOR モード

ADD-ONモードおよび共通の項をお読みください。

本体



リモコン

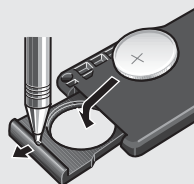


PAUSE ボタンと MODE ボタンは、ADD-ON モードのときだけ使用します。

付属のリモコンを使うための準備です。

リモコンに電池を入れる

リモコンを裏返し、電池ホルダーを取り出して、リチウム電池 (CR2032) を ⊕ 側を上にしてセットします。



リモコンの操作可能範囲が狭くなってきたときは、新しい電池と交換してください。

リモコン取り扱い上のご注意

リモコンを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。

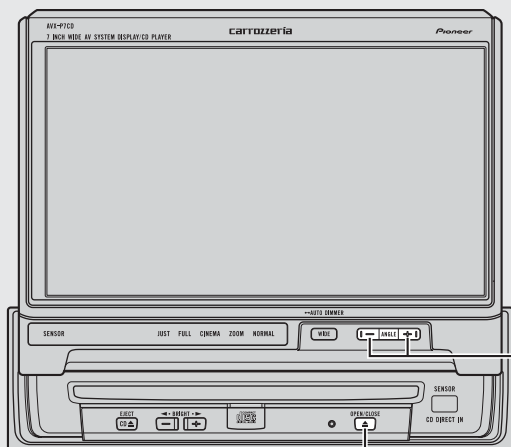
本体に直射日光が当たっていると、リモコンの操作ができないことがあります。このようなときは、本体にリモコンを近づけて操作してください。

付属の電池は充電できません。

リモコンを長い間使わないときは、電池を取り出してください。取り出した電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。

電池の液もれが起こったときは、内部についた液をよくふき取ってから、新しい電池と入れ換えてください。

不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示 (条例) に従って処理してください。



アングル
ANGLE ボタン

オープン / クローズ
OPEN/CLOSE ボタン

メモ

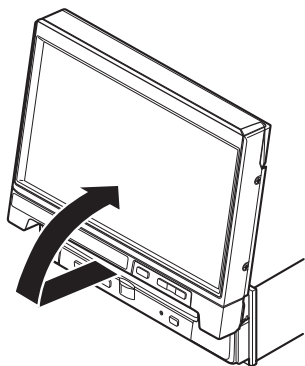
モニターは自動開閉機能によって、次のように動作します。

- * モニターを立ち上げたまま車のエンジンスイッチをOFFにすると、OFFにしてから約6秒後にモニターが本体に収納されます。再びエンジンスイッチをON (またはACC) にすると、自動的にモニターが立ち上がります。
- * 自動開閉機能は、解除することもできます。(E 75 ページ)

本体にモニターを収納して車のエンジンスイッチをOFFにしたときは、再びエンジンスイッチをON (またはACC) にしても、モニターは立ち上がりません。OPEN/CLOSE ボタンを押して立ち上げてください。(リモコンの場合は、OPEN/CLOSE ボタンを2秒以上押してください。)
モニターが車のコンソールやダッシュボードに当たって音がする場合は、ANGLE ボタンの (－) 側を押して、モニターの角度を調節してください。

1 車のエンジンをかける

車のエンジンをかけて、モニターを自動的に立ち上げる



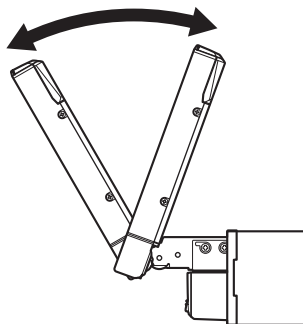
自動閉鎖機能により、自動的にモニターが立ち上がります。

モニターが自動的に立ち上がらない場合は、OPEN/CLOSE ボタンを押して立ち上げてください。(リモコンの場合は、OPEN/CLOSE ボタン2秒以上押ししてください。)

2 画面を見やすい角度に調節する

ANGLE ボタンを押す

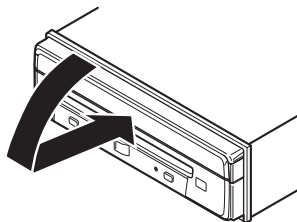
- + : 画面を上向きにするとき
- : 画面を下向きにするとき



角度の調節は、手動で行わないでください。モニターに強い力が加わると、故障することがあります。

3 モニターを本体に収納する

OPEN/CLOSE ボタンを押す



モニターが完全に収納されたことを確認してください。モニターが途中で止まってしまった場合、そのまま放置すると故障することがあります。

本機と組み合わせるメインユニットについて

本機は、別売のメインユニットと組み合わせ使用することができます。
CDの操作は、本機と組み合わせたメインユニット側で行います。(本機では操作できません。)

「MEH-P777」との組み合わせについて

本書では、メインユニットとして「MEH-P777」の例で操作説明を行っています。

「MEH-P777」以外のメインユニットとの組み合わせについて

メインユニット ①：FUNCTION ボタンでファンクションモードを切り換えて操作するメインユニット

例：MEH-P555

メインユニット ②：AVマスターユニット

例：AVM-P9

メインユニット ③：セレクションキーで操作するメインユニット

例：MEH-P999

メインユニット ④：FUNCTION ボタン (ファンクションモード) がないメインユニット

例：KEH-P555¹

メインユニット①と組み合わせた場合は、「メインユニットのボタン名称」(☞ はじめに ⑥)を参照して「MEH-P777」と対応しているボタンで操作を行ってください。

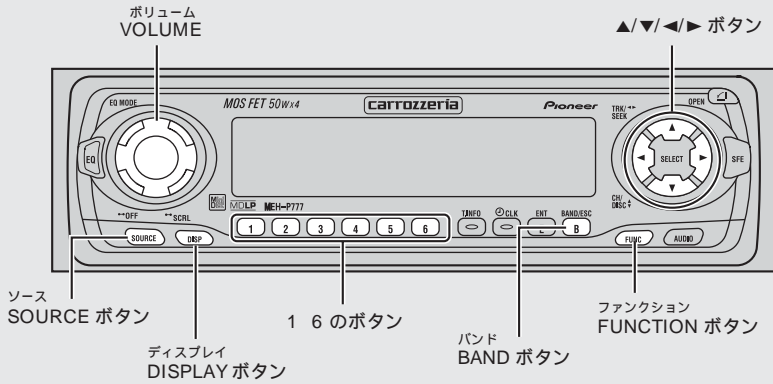
メインユニット②または③と組み合わせた場合は、メインユニットの取扱説明書に1枚型CDの操作説明が記載されていますので、そちらをご覧ください。

メインユニット④と組み合わせた場合は、各操作説明の「メインユニット④ (例：KEH-P555)の場合」をご覧ください。

メモ

¹ KEH-P555は、本機のテレビをエクスターナルユニットとしてコントロールします。本機とKEH-P555を組み合わせたときは、他のエクスターナルユニットをKEH-P555に接続できません。

メインユニットのボタン名称 例：「MEH-P777」



メモ

リモコンでの操作については、メインユニットの取扱説明書をお読みください。

ナビゲーションシステムと組み合わせた場合

ナビゲーションに付属のリモコンでも、本機の操作の一部を行うことができます。

HDDナビゲーションサーバー「AVIC-H09」または「AVIC-H07」と組み合わせた場合

リモコンの左側面にある操作モード切り換えスイッチをナビ/TV側に切り換え、リモコン設定スイッチを次のように設定して操作してください。

スイッチ1：OFF

スイッチ2：ON

スイッチ3：OFF

【V.CHANGEボタン】

本機に付属のリモコンのV.SELボタンと同じ働きをします。見たい映像に切り換えることができます。

DVDナビゲーションシステム「AVIC-D9100」¹、「AVIC-D9000」および「AVIC-D7000」と組み合わせた場合

本機は、「AVX-P7000CD」と同じ操作ができます。リモコン設定スイッチを次のように設定し、DVDナビゲーションシステムの説明書の「AVX-P7000CD」についての記載を参照して、正しく操作してください。

スイッチ1：ON

スイッチ2：OFF

スイッチ3：ON

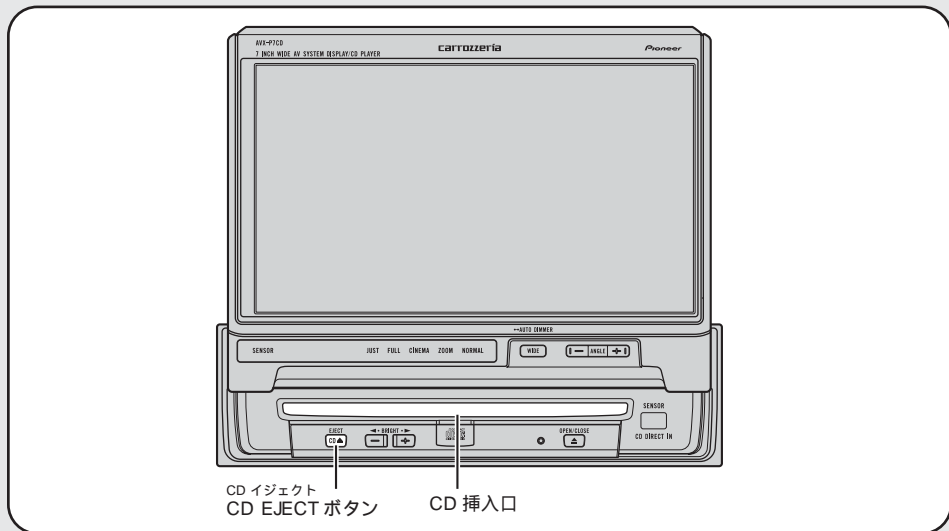
ここだけで
1

CD をセットする

CD をセットする

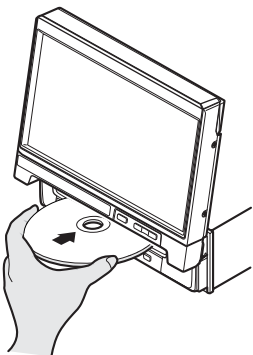
CD を取り出す

まず最初に、本機にCDをセットしてください。



1 CDを セットする

タイトル面を上にして、CD挿入口に
差し込む



自動的にCDがセットされ、再生が始まり
ます。

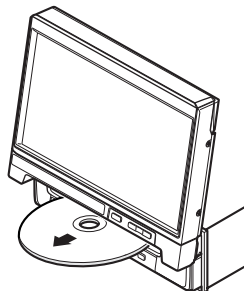
ご注意

CDシングル (8 cm CD) もアダプターなしで
セットできます。アダプターは絶対使用しな
いでください。

2 CDを取り出して CD再生をやめる

CD EJECT ボタンを押す

CDが出てきて、電源がOFFになります。



出てきたCDはすぐに取り出して、保管
してください。

IP-BUS

メモ

CD挿入口には、CD以外の物を絶対に入れない
でください。故障の原因となります。
CDをセットしたまま電源をOFFにしたり、他の
ソース (TVやラジオなど) に切り換えることもで
きます。(☞ メインユニットの説明書)

チェック 最初に本機にCDをセットしてください。(E3) ここだけで ① 18ページ

1 ソースを 1枚型CDにする

SOURCE ボタンを押す

ボタンを押すごとにソースが切り換わります。1枚型CDになるまでボタンを繰り返し押ししてください。

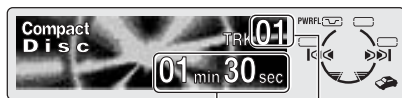


CDの再生が始まります。

2 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)
- ◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)



再生経過時間 曲番号

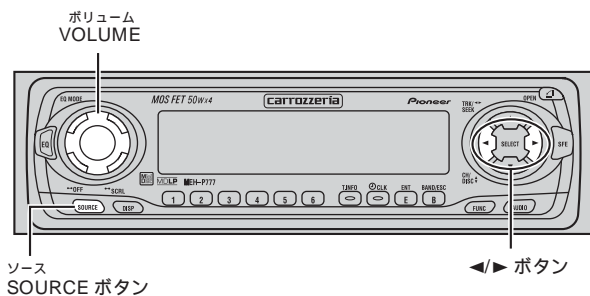
選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5秒未満
曲の早送り/早戻し	0.5秒以上押し 続けている間

音量を調節する

ソース切り換え / トラックサーチ / 早送り/早戻し / 音量調節

ここだけ読めば
すぐ使えます



IP-BUS

3 音量を調節する

VOLUME を押す

押すと手前に出てきます。

もう一度押すと、元に戻ります。

VOLUME を回して、音量を調節する

右回し：大きくするとき

左回し：小さくするとき



0 ~ 62 の範囲で調節できます。

約4秒間、音量が表示されます。

4 CDの再生をやめる

SOURCE ボタンを押す

他のソースに切り換わります。

SOURCE ボタンを1秒以上押す

電源がOFFになります。

ここだけで 3 テレビのふだんの操作

バンドを選ぶ 放送局を選ぶ

ここだけの操作で、テレビを見ることができます。

チェック 最初にモニターを立ち上げておいてください。(☞ はじめに 4 12 ページ)

1 ソースを TV にする

SOURCE ボタンを押す
ボタンを押すごとにソースが切り換わります。



8 秒間受信状態が表示されます。

2 バンドを 選ぶ

BAND ボタンを押す
ボタンを押すごとに、次のようにバンドが切り換わります。



ステレオ放送を受信 TV1 TV2
すると表示されます。

より多くのチャンネルを記憶できるように、1と2のバンドに分かれています。(受信できるチャンネルはどちらも1～62 chです。)

3 チャンネルを 選局する

- ◀または▶ ボタンを押す
- ▶ : 次のチャンネルを選ぶとき
- ◀ : 前のチャンネルを選ぶとき



受信チャンネル

選局方法の使い分け

手動選局 (1ステップずつ)	0.5秒未満
自動選局	0.5秒以上

0.5秒以上押し続けている間、途中のチャンネルをとばすことができます。ボタンを離れたところから自動選局を開始します。電波の強いチャンネルを選局するには、自動選局を、電波の弱いチャンネルを選局するには、手動選局をおすすめします。

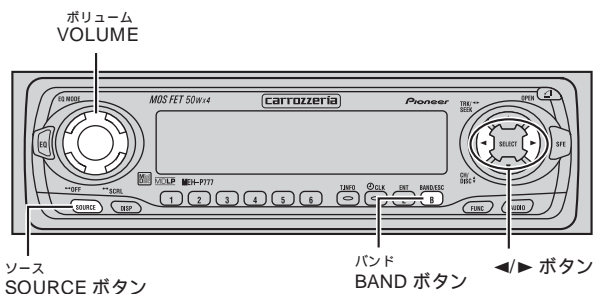
メインユニット④ (例: KEH-P555) の場合

RPT/RDM ボタンを押すごとに、◀▶ ボタンの動きが自動選局または手動選局に切り換わります。

音量を調節する

ソース切り換え / バンド切り換え / 選局 / 音量調節

ここだけ読めば
すぐ使えます



IP-BUS

4 音量を調節する

VOLUME を押す

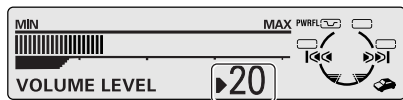
押すと手前に出きます。

もう一度押すと、元に戻ります。

VOLUME を回して、音量を調節する

右回し：大きくするとき

左回し：小さくするとき



0 ~ 62 の範囲で調節できます。

約 4 秒間、音量が表示されます。

5 TV の受信をやめる

SOURCE ボタンを押す

他のソースに切り換えてください。

SOURCE ボタンを 1 秒以上押す

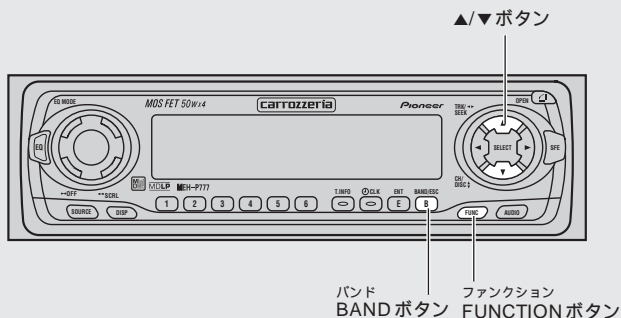
電源が OFF になります。

メモ

走行中にテレビの映像を見ることはできませんが、テレビの各操作を行うことはできます。(音声を聞くこともできます。)

バンドの切り換えは、本機のリモコンでは操作できません。

選局は、本機のリモコンでも操作できます。



CDを聞く 1 モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

ファンクションモードの切り換え

1 ファンクションモードを切り換える

FUNCTION ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

リピートモード (CDを聞く 2)

ランダムモード (CDを聞く 3)

スキャンモード (CDを聞く 4 26 ページ)

ポーズモード (CDを聞く 5 27 ページ)

[COMP 切り換えモード] ¹

(CDを聞く 6 28 ページ)

リピートモードに戻る

メモ

ファンクションモードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

¹ COMP 切り換え機能 (CDを聞く 6 28 ページ) が付いていないメインユニットでは、このモードには切り換わりません。

メインユニット 4 (例: KEH-P555) の場合

ファンクションモードはありません。

CDを聞く

2

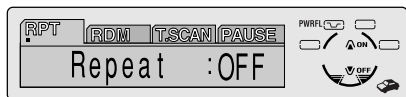
同じ曲を繰り返し 聞く

トラックリピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞くことができます。

1 リピートモードにする

FUNCTIONボタンを押して選ぶ
(CDを聞く ❶)



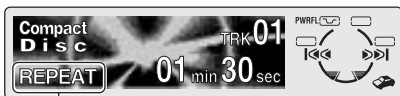
2 リピート再生をONにする

▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



今聞いている曲を繰り返し再生します。

BANDボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



リピート再生中に表示されます。

メインユニット④ (例:KEH-P555) の場合

RPT/RDMボタンを押すごとに、リピート再生のON/OFFが切り換わります。

CDを聞く

3

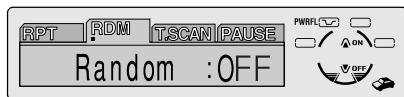
いつもと違う曲順で 聞く

ランダム再生

選曲をCDプレーヤーにまかせて、いつもと違う曲順 (ランダム) で再生することができます。

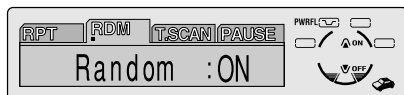
1 ランダムモードにする

FUNCTIONボタンを押して選ぶ
(CDを聞く ❶)



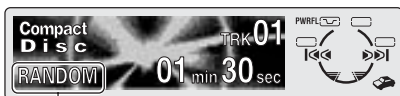
2 ランダム再生をONにする

▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



次の曲から、ランダムに選曲します。

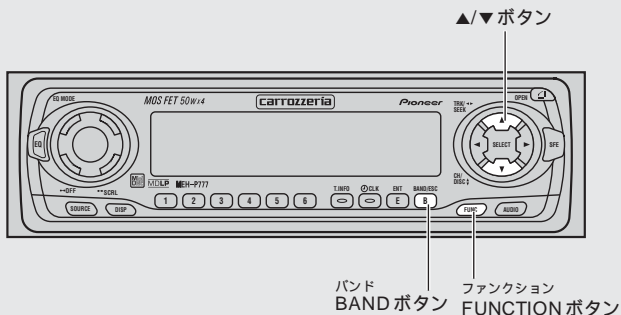
BANDボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



ランダム再生中に表示されます。

メインユニット④ (例:KEH-P555) の場合

RPT/RDMボタンを2秒以上押すごとに、ランダム再生のON/OFFが切り換わります。



4 CDを聞く 聞きたい曲をさがす

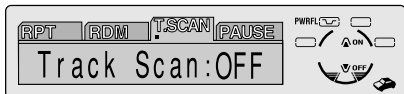
スキャン再生

曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。

1 スキャンモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(CDを聞く ① 24 ページ)



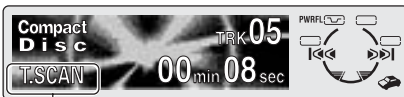
2 スキャン再生を始める

▲ ボタンを押す



曲の始めの約10秒間が次々に再生されます。

スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動的にファンクションモードが解除されます。



スキャン再生中に表示されます。

3 聞きたい曲が再生されたら スキャン再生をOFFにする

確認

ファンクションモードが解除されていたら、手順1の操作を行ってもう一度スキャンモードにしてから、スキャン再生をOFFにしてください。

スキャンモードのときに▼ボタンを押す



BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

スキャン再生を始めた曲まで戻るとスキャン再生は解除されます。

メインユニット④ (例: KEH-P555) の場合

PAUSE/SCAN ボタンを2秒以上押すごとに、スキャン再生のON/OFFが切り換わります。

CD再生を一時停止する

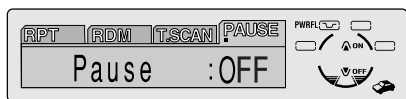
ポーズ

CD再生を一時停止することができます。

1 ポーズモードにする

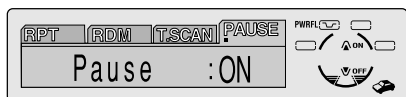
FUNCTION ボタンを押して選ぶ

( CDを聞く ① 24 ページ)



2 CD再生を一時停止する

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで再生)



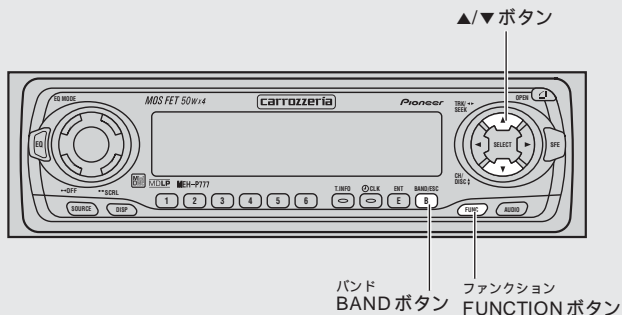
BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



一時停止中に表示されます。

メインユニット④ (例:KEH-P555) の場合

PAUSE/SCAN ボタンを押すごとに、ポーズの ON/OFF が切り換わります。



6 CDを聞く CDの音質を調整する

COMP / DBE

大きな音と小さな音の音量差を小さくしたり、低音域を押し上げたりすることができます。

チェック COMP切り換え機能が付いたメインユニットのみの機能です。

COMPについて

COMPとは、Compression (コンプレッション) の略です。コンプレッションは、大きな音を抑え、小さな音を押し上げて、大きな音と小さな音の音量差を小さくする機能です。この機能は、小さな音が聞きとりにくいようなときにお使いになると便利です。

DBEについて

DBEとは、Dynamic Bass Emphasis (ダイナミックバスエンファシス) の略です。DBEは、車内で不足しがちな低音域を押し上げる機能です。

1 COMP切り換えモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(CDを聞く ① 24 ページ)



現在のCOMP/DBEの状態が表示されます。

2 機能を選ぶ

▲または▼ボタンを押すボタンを押すごとに次のように切り換わります。

Comp. OFF (COMP OFF)

Comp. 1 (COMP 1)

Comp. 2 (COMP 2)

Comp. OFF (COMP OFF)

DBE 1

DBE 2

最初のComp. OFFに戻る

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

COMP、DBEともに1より2の方が効果が大きくなります。

メインユニット④(例: KEH-P555)の場合COMP切り換え機能はありません。

CDのタイトルを表示させるために、あらかじめタイトルを記憶させておきます。

チェック 別売のマルチCD (「CDX-P670 など」) を接続したときだけ使用できる機能です。

タイトル表示について

タイトル表示は、CDのタイトルを入力して記憶させておき、メインユニットのディスプレイに表示させる機能です。

タイトルの記憶、表示のしかたは、マルチCDと同じです。(マルチCDのタイトルについては ㊦ メインユニットの説明書)

タイトルは、別売のマルチCD (「CDX-P670」など) を接続すると、入力できるようになります。

タイトルは10文字まで入力できます。(組み合わせるメインユニットによって、入力できる文字数が異なることがあります。)

本機のタイトルは、マルチCDのタイトルおよびマルチCDのITSと合わせて、CD100枚分の記憶ができます。(マルチCDのタイトルおよびITSについては ㊦ メインユニットの説明書)

100枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

タイトルの記憶は、CDごとに行われます。CDを取り出しても消えません。そのCDをマルチCDにセットしたときも、ディスプレイにタイトルを表示させることができます。

1 タイトルを入力したいCDを再生する

(㊦ ここだけで ㊲ 18、20 ページ)

2 タイトル入力モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押す

3 CDタイトルを入力し、記憶させる (㊦ メインユニットの説明書)

マルチCDのタイトル入力の手順を参照し、同じ操作で記憶させてください。

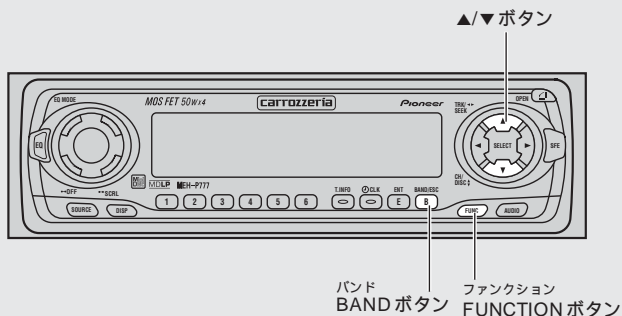
メモ

「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P670」など) を組み合わせた場合、「CD TEXT」を本機またはマルチCDのどちらで再生しているかによってタイトル記憶・表示は、以下のように異なります。

- * 本機で「CD TEXT」を再生している場合、お好みのタイトルを記憶・表示させることができます。
- * マルチCDで「CD TEXT」を再生している場合、「CD TEXT」にあらかじめ記憶されているCDタイトルが表示され、お好みのタイトルを入力することはできません。(本機で再生中に記憶させたタイトルを表示させることはできません。)

メインユニット4 (例:KEH-P555) の場合

タイトル入力モードはありません。



TVを見る

1

モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

ファンクションモードの切り換え

1 ファンクションモードを切り換える

FUNCTION ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

BSSM モード (TVを見る ②)

主音声/副音声切り換えモード

(TVを見る ④ 33 ページ)

BSSM モードに戻る

メモ

ファンクションモードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

メインユニット④ (例: KEH-P555) の場合

ファンクションモードはありません。

複数のチャンネルを自動的に記憶させる

BSSM

受信状態の良いチャンネルを探して、自動的にチャンネルの小さい順に、1～12の記憶番号に記憶させることができます。

1 記憶させるバンドを選ぶ

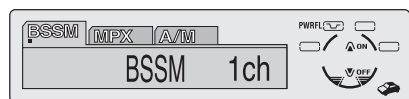
BAND ボタンを押す

(☞ ここだけで ③ 22 ページ)

2 BSSM モードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(☞ TV を見る ①)



記憶されたチャンネル 受信チャンネル

記憶が終わると、1の記憶番号に記憶したチャンネルを受信します。

3 BSSM を始める

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで途中解除)



記憶動作中に点滅します。

メモ

記憶できるチャンネルは、1バンドにつき12局です。

受信状態の良いチャンネルが、12局より少ないときは、前の記憶が残ることがあります。

BSSMとは、Best Stations Sequential Memory (ベストステーションズシーケンシャルメモリー)の略です。

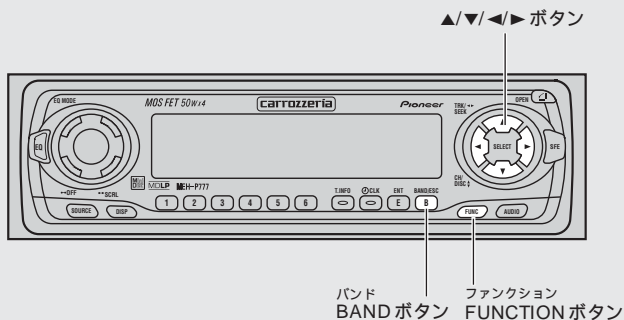
本機のリモコンのBSSMボタンを2秒以上押すことで、BSSMを操作することもできます。

記憶させたチャンネルを呼び出すには (☞ TV を見る ③ 32 ページ)

1～6のボタンの1つを2秒以上押すことで、記憶番号1～6にお好みのチャンネルを1チャンネルずつ手動で記憶させることができます。(手動では、記憶番号7～12に記憶させることはできません。)

メインユニット④ (例:KEH-P555) の場合

PAUSE/SCAN ボタンを2秒以上押すと、BSSMが始まります。



TVを見る
3

記憶させたチャンネルを呼び出す

プリセットチューニング

記憶させたチャンネルは、簡単に呼び出すことができます。

1 記憶させたバンドを選ぶ

BAND ボタンを押す
(E 22 ページ)

2 記憶させたチャンネルを呼び出す

- ▲ または ▼ ボタンを押す
- ▲ : 次の記憶番号のチャンネルを呼び出すとき
- ▼ : 前の記憶番号のチャンネルを呼び出すとき



受信チャンネル

メモ

記憶番号 1 ~ 6 に記憶されているチャンネルは、1 ~ 6 のボタンで直接呼び出すこともできます。(記憶番号 7 ~ 12 を直接呼び出すことはできません。)

2カ国語放送の副音声を聞く

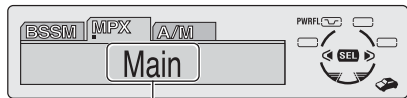
主音声 / 副音声切り換え

2カ国語放送 (音声多重放送) を受信しているときは、主音声 (日本語) や副音声 (外国語) だけを聞くことができます。

1 主音声/副音声切り換えモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

( TVを見る ① 30 ページ)



現在の音声状態が表示されます。

2 聞きたい音声を選ぶ

◀または▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

Main (主音声)

Sub (副音声)

Main + Sub (主・副音声)

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

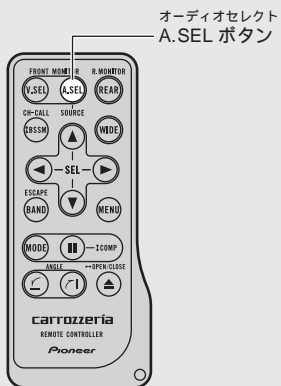
洋画やニュースの2カ国語放送のように、2種類の音声を持った放送のことを音声多重放送といいます。2カ国語放送の場合は、一般に主音声を日本語、副音声を外国語 (例えば英語) で放送します。(逆の場合もあります。)

メインユニット④ (例: KEH-P555) の場合

音声の切り換えはできません。



ソース
SOURCE ボタン



オーディオセレクト
A.SEL ボタン

本機のリモコン

ビデオを見る

本機に接続したポータブルビデオなどを見ることができます。(☞ 取付説明書)

1 ビデオの電源を入れる

(☞ ビデオの説明書)

2 メインユニットのソースを TV にする

SOURCE ボタンを押す



音声表示 1

3 本機のソースをビデオにする

本機のリモコンのA.SEL ボタンを押すボタンを押すごとに次のように切り換わります。

TV (テレビ)

VTR1 (ビデオ 1)

VTR2 (ビデオ 2)

TV に戻る

メモ

¹ 本機のソースがTVの場合、音声表示は受信チャンネルの表示になります。

VTR1、VTR2は、設定メニューで“SELECT”にしているときだけ切り換わります。(☞ TV の設定 ③ 70 ページ)

V.SEL ボタンを押すと、映像だけを切り換えることができます。(☞ 便利な機能 ② 37 ページ)



ソース
SOURCE ボタン

ビジュアルセレクト
V.SEL ボタン




本機のリモコン

映像だけを切り換える

バックグラウンド表示

音声は現在聞いているソースのまま、映像だけをナビゲーションやビデオなどに切り換えることができます。

1 ナビゲーションまたはビデオの電源を入れる

( ナビゲーションまたはビデオの説明書)

2 メインユニットのソースをTVにする

SOURCE ボタンを押す



音声連動マーク

映像表示

IP-BUS MAIN UNITモードの場合

「音声連動マーク」
(現在のソースの映像)

BGNAVI (ナビゲーションの映像)


BGTV (TVの映像)

BGVTR1 (ビデオ1の映像)


BGVTR2 (ビデオ2の映像)

「音声連動マーク」に戻る

メモ

VTR1、VTR2は、設定メニューで“SELECT”にしているときだけ切り換わります。( TVの設定 ⑤ 70ページ)

映像を切り換えると、音声と映像の状態が8秒間表示されます。

メインユニットのソースをTV以外にした場合、TV、ナビゲーション、またはビデオの映像を見ながらメインユニットの音声を聞くことができます。( 便利な機能 ④ 39ページ)

3 お好みの映像に切り換える

本機のリモコンのV.SELボタンを押すボタンを押すごとに次のように切り換わります。

IP-BUS AV MASTERモードの場合

「音声連動マーク」
(現在のソースの映像)

BGTV (TVの映像)

BGVTR1 (ビデオ1の映像)

BGVTR2 (ビデオ2の映像)

「音声連動マーク」に戻る

IP-BUS AV MASTERモードの場合

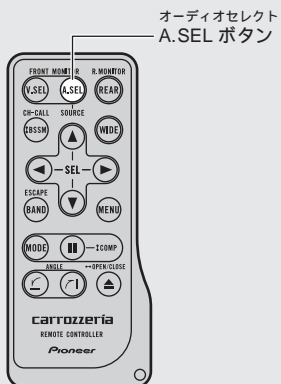
ナビゲーションを組み合わせている場合でも、本機で切り換えることはできません。(AVマスターユニットで切り換えます。)

IP-BUS MAIN UNITモードの場合

本機にナビゲーションが接続されていない場合、ナビゲーションの映像には切り換わりません。映像を持たないソースを聞いている場合、「音声連動マーク」(現在のソースの映像)に切り換えると、映像は表示されません。



ソース
SOURCE ボタン



オーディオセレクト
A.SEL ボタン

本機のリモコン

音声だけを切り換える

「音声連動マーク」が消灯している場合、現在見ている映像のままで、お好みの音声に切り換えることができます。

チェック 「音声連動マーク」が消灯しているときのみ操作できる機能です。(E38 便利な機能 ② 37ページ)

メインユニットに接続したソースを聞くとき

本機に接続したソースを聞くとき

1 メインユニットのソースをお好みのソースに切り換える

SOURCE ボタンを押す
選んだソースの音声が出力されます。

メモ

IP-BUS AV MASTER モードの場合
本機の映像を見るには、AV マスターユニット側の映像ソースをTV にしてください。

1 メインユニットのソースをTVにする

SOURCE ボタンを押す



音声表示 ¹

2 本機の音声を好みのソースに切り換える

本機のリモコンのA.SEL ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

TV (テレビ)

VTR1 (ビデオ 1)

VTR2 (ビデオ 2)

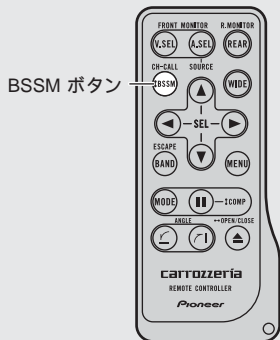
TV に戻る

メモ

¹ 本機の音声がTVの場合、音声表示は受信チャンネル表示になります。

VTR1、VTR2は、設定メニューで“SELECT”にしているときだけ切り換わります。(E38 TVの設定 ③ 70ページ)

メインユニットのソースがTV以外の場合、本機の音声切り換えはできますが、出力される音声は、本機ではなくメインユニットで選んだソースになります。



本機のリモコン

便利な機能

4

チャンネルを確認する

受信中のチャンネルやバンドなど、現在の受信状態を表示させることができます。また、現在のバンドに記憶されているチャンネルを、一覧表示させることもできます。

1 表示する

本機のリモコンのBSSM ボタンを押すボタンを押すごとに次のように切り換わります。

チャンネルコール表示

プリセットチャンネル一覧表示

表示OFF

メモ

呼び出した表示は、8秒間表示されます。映像にテレビやVTRを選んでおくと、表示を呼び出すことができます。

チャンネルコール表示



- 音声表示
- 音声連動マーク
- 映像表示
- リアモニターのソース (その他 5 78 ページ)
- バンド

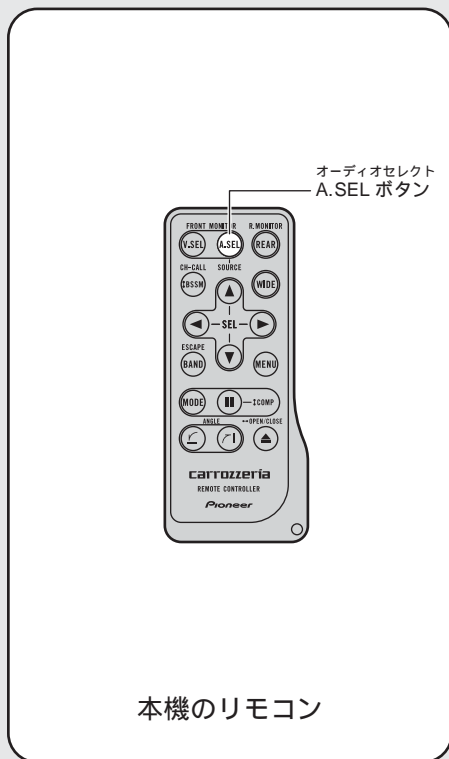
プリセットチャンネル一覧表示



- 記憶されているチャンネル

聞きたいソース (音源) を選ぶ

聞きたいソース (音源) に切り換えることができます。



1 ソースを切り換える

A.SEL ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

- TV (テレビ)
- VTR1 (ビデオ1) (別売)
- VTR2 (ビデオ2) (別売)
- 1 枚型 CD
- マルチ CD (別売)
- マルチ MD (別売)
- 電源 OFF

2 カーステレオで 各ソースの音声を聞く

カーステレオのラジオ (FM) で、FM
モジュレーターで設定した周波数を受
信する (☞ TV の設定 ④ 71 ページ)

カーステレオのスピーカーから本機の音声
が出力されます。音量の調節をカーステレ
オで行ってください。

3 電源を切る

A. SEL ボタンを押す

本機の電源がOFFになるまで、ボタンを繰
り返し押してください。

音声と映像が同時に切り換わらない場合
は、「音声連動マーク」を表示させてくだ
さい。(☞ 音声と映像 ① 64 ページ)

ADD-ON

メモ

接続していないソースには切り換わりません。
CDやMDがセットされていないときは、その
ソースには切り換わりません。
VTR1、VTR2は、設定メニューで“SELECT”
にしているときだけ切り換わります。(☞ TV
の設定 ③ 70 ページ)
本機をOFFにしても、FMカーステレオはOFF
になりません。

ここだけで

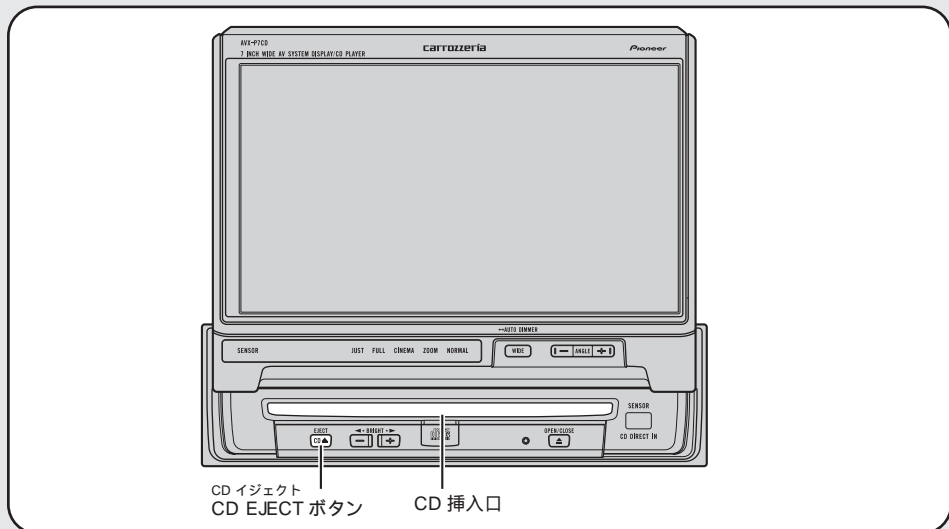
2

CD をセットする

CD をセットする

CD を取り出す

まず最初に、本機にCDをセットしてください。



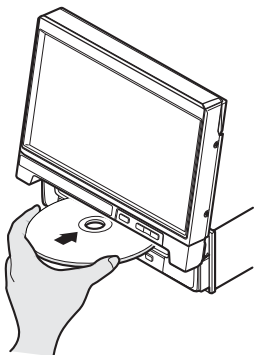
CD イジェクト

CD EJECT ボタン

CD 挿入口

1 CDを セットする

タイトル面を上にして、CD挿入口に
差し込む



自動的にCDがセットされ、再生が始まります。

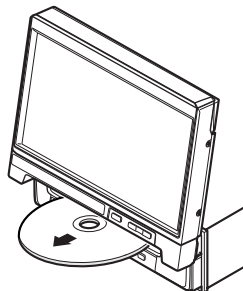
ご注意

CDシングル (8 cm CD) もアダプターなしで
セットできます。アダプターは絶対使用しない
でください。

2 CDを取り出して CD再生をやめる

CD EJECT ボタンを押す

CDが出てきて、電源がOFFになります。



出てきたCDはすぐに取り出して、保管
してください。

ADD-ON

メモ

CD挿入口には、CD以外の物を絶対に入れない
でください。故障の原因となります。
CDをセットしたまま電源をOFFにしたり、他の
ソース (テレビやマルチCDなど) に切り換えるこ
ともできます。(EJECT) ここだけで ① 42 ページ

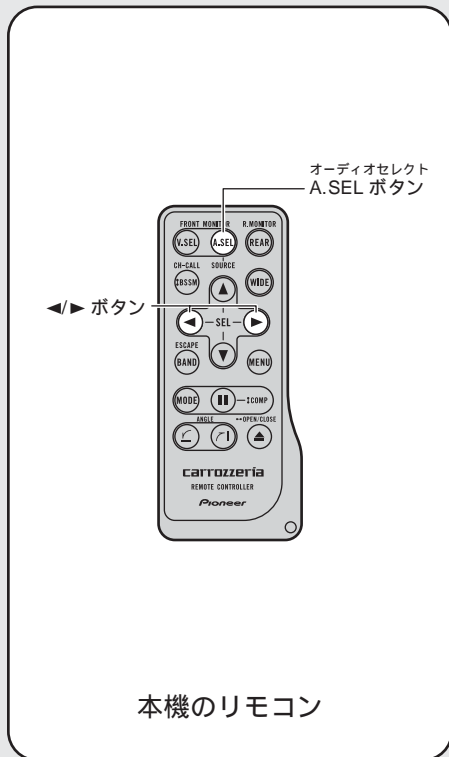
ここだけで CD のふだんの操作

3

曲を選ぶ 早送り/早戻しをする

ここだけの操作で、CDを聞くことができます。

チェック 最初に本機にCDをセットしてください。(E3) ここだけで 44 ページ)



1 ソースを 1 枚型 CD にする

A.SEL ボタンを押す
ボタンを押すごとにソースが切り換わります。



CDの再生が始まります。

2 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)
- ◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)



曲番号

再生経過時間

選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5秒未満
曲の早送り/早戻し	0.5秒以上押し 続けている間

3 カーステレオで CDの音声を聞く

カーステレオのラジオ (FM) で、FM モジュレーターで設定した周波数を受信する (☞ TV の設定 ④ 71 ページ)

カーステレオのスピーカーからCDの音声が出力されます。音量の調節をカーステレオで行ってください。

4 CDの 再生をやめる

A. SEL ボタンを押す

本機の電源がOFFになるまで、ボタンを繰り返し押ししてください。

音声と映像が同時に切り換わらない場合は、「音声連動マーク」を表示させてください。(☞ 音声と映像 ① 64 ページ)

ADD-ON

メモ

“CMPOFF”表示は、マルチCD用の表示です。
(☞ マルチCD ④ 61 ページ)

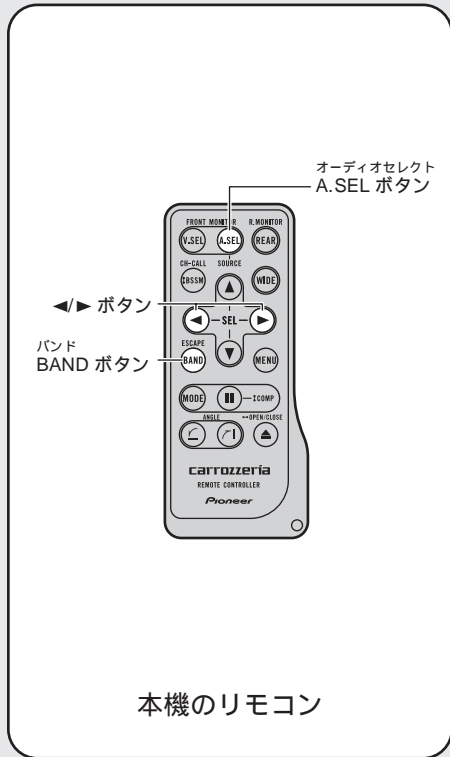
ここだけで 4 テレビのふだんの操作

バンドを選ぶ

放送局を選ぶ

ここだけの操作で、テレビを見ることができます。

チェック 最初にモニターを立ち上げておいてください。(☎はじめに 4 12 ページ)



本機のリモコン

1 ソースを TV にする

A.SEL ボタンを押す
ボタンを押すごとにソースが切り換わります。

8 秒間受信状態が表示されます。

2 バンドを 選ぶ

BAND ボタンを押す
ボタンを押すごとに、次のようにバンドが切り換わります。

ステレオ放送を受信 TV1 TV2
すると表示されます。

より多くのチャンネルを記憶できるように、1と2のバンドに分かれています。(受信できるチャンネルはどちらも1～62chです。)

3 チャンネルを 選局する

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 次のチャンネルを選ぶとき
- ◀ : 前のチャンネルを選ぶとき



受信チャンネル

選局方法の使い分け

手動選局 (1ステップずつ)	0.5秒未満
自動選局	0.5秒以上

0.5秒以上押し続けている間、途中のチャンネルをとばすことができます。ボタンを離れたところから自動選局を開始します。

電波の強いチャンネルを選局するには、自動選局を、電波の弱いチャンネルを選局するには、手動選局をおすすめします。

4 カーステレオで テレビの音声を聞く

カーステレオのラジオ (FM) で、FM モジュレーターで設定した周波数を受信する (☞ TV の設定 ④ 71 ページ)

カーステレオのスピーカーからテレビの音声が出力されます。音量の調節をカーステレオで行ってください。

5 テレビの 受信をやめる

A. SEL ボタンを押す

本機の電源がOFFになるまで、ボタンを繰り返し押ししてください。

音声と映像が同時に切り換わらない場合は、「音声連動マーク」を表示させてください。(☞ 音声と映像 ① 64 ページ)

メモ

走行中にテレビの映像を見ることはできませんが、テレビの各操作を行うことはできます。(音声聞くこともできます。)

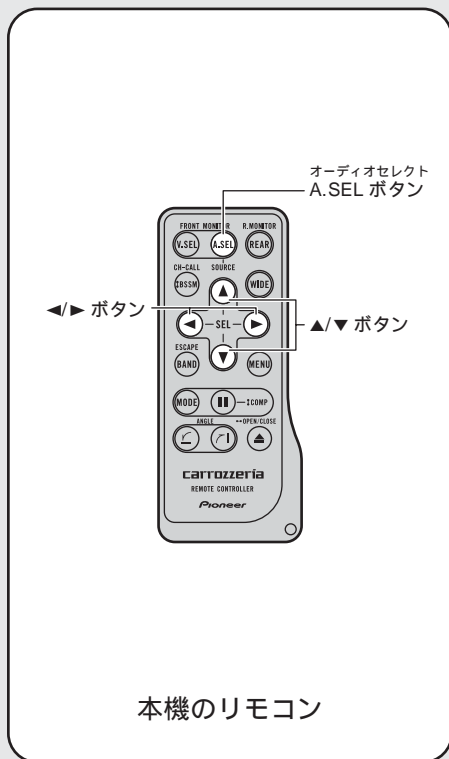
テレビの音声がFM放送と混信する場合は、FM モジュレーターの周波数の設定を切り換えてください。(☞ TV の設定 ④ 71 ページ)

ADD-ON

ここだけで 5 マルチ CD のふだんの操作

CD を選ぶ 曲を選ぶ

ここだけの操作で、マルチ CD プレーヤーで CD を聞くことができます。



1 ソースを マルチ CD にする

A.SEL ボタンを押す
ボタンを押すごとにソースが切り換わります。



マルチ CD の再生が始まります

2 聞きたい CD を 選ぶ

- ▲ または ▼ ボタンを押す
- ▲ : 次の CD を選ぶとき
- ▼ : 前の CD を選ぶとき



3 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)
- ◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)



曲番号

再生経過時間

選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5秒未満
曲の早送り/早戻し	0.5秒以上押し 続けている間

4 カーステレオで マルチCDの音声を聞く

カーステレオのラジオ (FM) で、FMモジュレーターで設定した周波数を受信する (☞ TVの設定 ④ 71ページ)

カーステレオのスピーカーからマルチCDの音声が出力されます。音量の調節をカーステレオで行ってください。

5 マルチCDの 再生をやめる

A. SEL ボタンを押す

本機の電源がOFFになるまで、ボタンを繰り返し押ししてください。

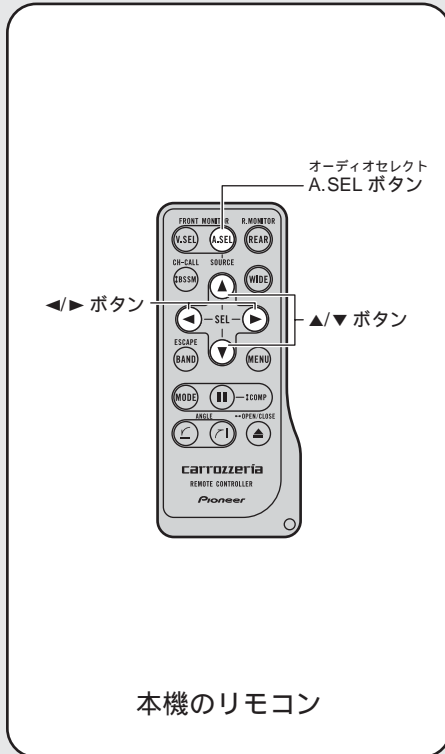
音声と映像が同時に切り換わらない場合は、「音声連動マーク」を表示させてください。(☞ 音声と映像 ① 64ページ)

ADD-ON

メモ

マルチCDプレーヤーには、本機では操作できない機能がいくつかあります。本機で操作できる機能は、本書に記載されている機能のみです。マルチCDが準備動作 (CDの有無の確認やCDの情報の読み込みなど) をしている場合があります。このとき、ソースをマルチCDに切り換えると「READY」が表示されます。マルチCD再生中にマルチCDからマガジンを取り出すと、「NO MAG」が表示されます。

ここだけの操作で、マルチ MD で MD を聞くことができます。



1 ソースを マルチ MD にする

A.SEL ボタンを押す

ボタンを押すごとにソースが切り換わります。



マルチ MD の再生が始まります

2 聞きたい MD を 選ぶ

▲ または ▼ ボタンを押す

▲ : 次の MD を選ぶとき

▼ : 前の MD を選ぶとき



MD 番号

3 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)
- ◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)



曲番号

再生経過時間

選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5秒未満
曲の早送り/早戻し	0.5秒以上押し 続けている間

4 カーステレオで マルチMDの音声を聞く

カーステレオのラジオ (FM) で、FMモジュレーターで設定した周波数を受信する (☞ TVの設定 ④ 71ページ)

カーステレオのスピーカーからマルチMDの音声が出力されます。音量の調節をカーステレオで行ってください。

5 マルチMDの 再生をやめる

A. SEL ボタンを押す

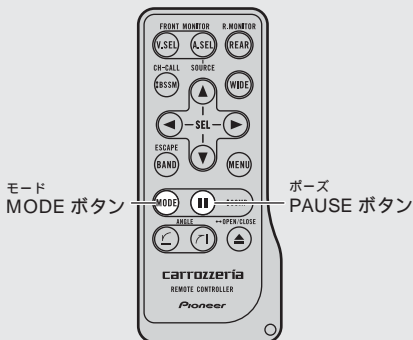
本機の電源がOFFになるまで、ボタンを繰り返し押ししてください。

音声と映像が同時に切り換わらない場合は、「音声連動マーク」を表示させてください。(☞ 音声と映像 ① 64ページ)

ADD-ON

メモ

マルチMDプレーヤーには、本機では操作できない機能がいくつかあります。本機で操作できる機能は、本書に記載されている機能のみです。MDを再生しているときに、マルチMDプレーヤーのSTOPボタンを押すと“STOP”が表示され、再生が停止します。もう一度再生を始めたときは、▲/▼ボタンで再生したいディスクを選んでください。



CDを聞く **1** 同じ曲を
繰り返し聞く

リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞くことができます。

1 リピート再生をONにする

MODE ボタンを押す
ボタンを押すごとにON/OFFします。



リピート再生中に表示されます。

CDを聞く **2** いつもと違う曲順で
聞く

ランダム再生

選曲をCDプレーヤーにまかせて、いつもと違う曲順 (ランダム) で再生することができます。

1 ランダム再生をONにする

MODE ボタンを2秒以上押す
ボタンを2秒以上押すごとにON/OFFします。



ランダム再生中に表示されます。

CD再生を 一時停止する

ポーズ

CD再生を一時停止することができます。

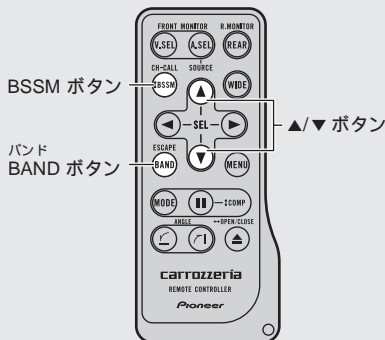
1 CD再生を一時停止する

PAUSE ボタンを押す

ボタンを押すごとにON/OFFします。



一時停止中に表示されます。



TVを見る

1

複数のチャンネルを自動的に記憶させる

BSSM

受信状態の良いチャンネルを探して、自動的にチャンネルの小さい順に記憶させることができます。

1 記憶させるバンドを選ぶ

BAND ボタンを押す
(ここだけで ④ 48 ページ)

2 BSSM を始める

BSSM ボタンを2秒以上押す
(もう一度押すと途中解除)



記憶動作中に点滅します。



記憶されたチャンネル 受信チャンネル

記憶が終わると、記憶した中から一番小さいチャンネルを受信します。

メモ

記憶できるチャンネルは、1バンドにつき12局です。受信状態の良いチャンネルが、12局より少ないときは、前の記憶が残ることがあります。

BSSMとは、Best Stations Sequential Memory (ベストステーションズシーケンシャルメモリー)の略です。

記憶させたチャンネルを呼び出すには
(TVを見る ②)



記憶させたチャンネルを呼び出す

プリセットチューニング

記憶させたチャンネルは、簡単に呼び出すことができます。

1 記憶させたバンドを選ぶ

BAND ボタンを押す

( ここだけで  48 ページ)

2 記憶させたチャンネルを呼び出す

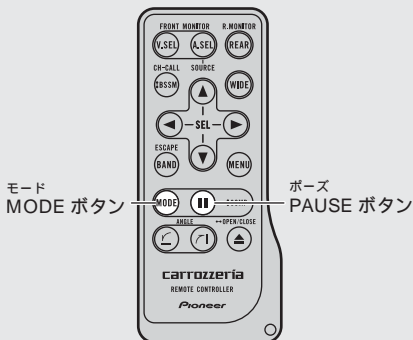
▲ または ▼ ボタンを押す

▲ : 次のチャンネルを呼び出すとき

▼ : 前のチャンネルを呼び出すとき



受信チャンネル



マルチCD 1 同じ曲やCDを繰り返し聞く

リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞いたり、1枚のCDを繰り返し聞くなど、繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。

再生範囲について

再生範囲 (繰り返し聞く範囲) は、次の中から選ぶことができます。

再生範囲 (表示)	リピート再生の内容
トラックリピート (TRK RPT)	再生中の曲を繰り返し再生します。
ディスクリピート (DISC RPT)	再生中のCDを繰り返し再生します。
マルチCDリピート (MAG RPT)	マルチCDにセットされているすべてのCDを通して再生します。(通常はこのモードにしておきます。)

1 再生範囲を切り換える

MODE ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

MAG RPT (マルチCDリピート)

TRK RPT (トラックリピート)

DISC RPT (ディスクリピート)

MAG RPTに戻る




選んだ再生範囲が表示されます。

いつもと違う曲順で
聞く

ランダム再生

選曲をマルチCDにまかせて、いつもと違う曲順(ランダム)で再生することができます。

1 再生範囲を選ぶ

MODE ボタンを押して選ぶ
( マルチCD ①)

選んだ再生範囲内でランダム再生が行われます。

2 ランダム再生をONにする

MODE ボタンを2秒以上押す
ボタンを2秒以上押すごとにON/OFFします。



ランダム再生中に表示されます。

メモ

ランダム再生中に、再生範囲を切り換えるとランダム再生は解除されます。

CD 再生を
一時停止する

ポーズ

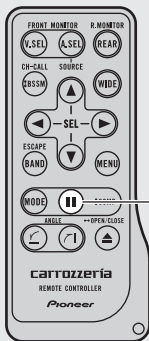
CD 再生を一時停止することができます。

1 CD 再生を一時停止する

PAUSE ボタンを押す
ボタンを押すごとにON/OFFします。



一時停止中に表示されます。



ポーズ
PAUSE ボタン

大きな音と小さな音の音量差を小さくしたり、低音域を押し上げたりすることができます。

チェック COMP/DBE 機能の付いたマルチCDプレーヤーで操作できます。

COMPについて

COMPとは、Compression (コンプレッション) の略です。コンプレッションは、大きな音を抑え、小さな音を押し上げて、大きな音と小さな音の音量差を小さくする機能です。この機能は、小さな音が聞きとりにくいようなときにお使いになると便利です。

DBEについて

DBEとは、Dynamic Bass Emphasis (ダイナミックバスエンファシス) の略です。DBEは、車内で不足しがちな低音域を押し上げる機能です。



現在のCOMP/DBEの状態が表示されます。

1 機能を選ぶ

PAUSE ボタンを2秒以上押す
ボタンを2秒以上押すごとに、次のように切り換わります。

CMPOFF (COMP OFF)

CMP1 (COMP 1)

CMP2 (COMP 2)

CMPOFF (COMP OFF)

DBE 1

DBE 2

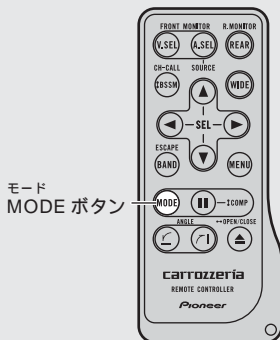
最初のCMPOFFに戻る

ご注意

COMP/DBE 機能のないマルチCDを組み合わせたときは、“NO CMP”が表示されて、操作ができません。

メモ

COMP、DBEともに1より2の方が効果が大きくなります。



マルチMD 1 同じ曲やMDを繰り返し聞き

リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞いたり、1枚のMDを繰り返し聞くなど、繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。

再生範囲について

再生範囲 (繰り返し聞く範囲) は、次の中から選ぶことができます。

再生範囲 (表示)	リピート再生の内容
トラックリピート (TRK RPT)	再生中の曲を繰り返し再生します。
ディスクリピート (DISC RPT)	再生中のMDを繰り返し再生します。
マルチMDリピート (MAG RPT)	マルチMDにセットされているすべてのMDを通して再生します。(通常はこのモードにしておきます。)

1 再生範囲を切り換える

MODE ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

MAG RPT (マルチMDリピート)

TRK RPT (トラックリピート)

DISC RPT (ディスクリピート)

MAG RPTに戻る



選んだ再生範囲が表示されます。

選曲をマルチMDにまかせて、いつもと違う曲順 (ランダム) で再生することができます。

ランダム再生について

次の中からランダム再生を選ぶことができます。

再生の種類 (表示)	ランダム再生の内容
ランダム1 (RDM1)	再生中のMDの中から、曲順に関係なく選曲されます。再生中のMDのすべての曲を再生し終わると、次のMDに切り換わり、ランダム再生を続けます。
ランダム2 (RDM2)	すべてのMDのすべての曲から、曲順に関係なく選曲されます。

1 ランダム再生を切り換える

MODE ボタンを2秒以上押すボタンを2秒以上押すごとに次のように切り換わります。

RDM1 (ランダム1)

RDM2 (ランダム2)

表示なし (OFF)

RDM1 に戻る



ランダム再生中に表示されます。

リピート再生との組み合わせ

ランダム再生は、次のようにリピート再生と組み合わせることができます。

表示	再生方法
MAG RPT、RDM1	ランダム1
DISC RPT、RDM1	ランダム1、ディスクリピート
MAG RPT、RDM2	ランダム2



音声と映像

1

映像だけを切り換える

バックグラウンド表示

音声は現在聞いているソースのまま、映像だけをナビゲーションやビデオなどに切り換えることができます。

1 ナビゲーションまたはビデオの電源を入れる

(☞ ナビゲーションまたはビデオの説明書)

「音声連動マーク」
(現在のソースの映像)

BGNAVI (ナビゲーションの映像)

BGTV (TVの映像)

BGVTR1 (ビデオ1の映像)

BGVTR2 (ビデオ2の映像)

2 お好みの映像に切り換える

V.SEL ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



「音声連動マーク」に戻る

メモ

VTR1、VTR2は、設定メニューで“SELECT”にしているときだけ切り換わります。(☞ TVの設定 ⑤ 70 ページ)

本機にナビゲーションが接続されていない場合、ナビゲーションの映像には切り換わりません。映像を切り換えると、音声と映像の状態が8秒間表示されます。

お手持ちのカーステレオのラジオを聞きたいときは、A.SEL ボタンを押して、音声ソースをOFFにしてください。(☞ 音声と映像 ②)

音声だけを切り換える

「音声連動マーク」が消灯している場合、現在見ている映像のままで、お好みの音声に切り換えることができます。

チェック 「音声連動マーク」が消灯しているときのみ操作できる機能です。(P.37 音声と映像 ①)

1 音声をお好みのソースに切り換える

A.SEL ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



音声表示 1

TV (テレビ)

VTR1 (ビデオ 1) (別売)

VTR2 (ビデオ 2) (別売)

1 枚型 CD

マルチ CD (別売)

マルチ MD (別売)

OFF

メモ

¹ 本機の音声は TV の場合、音声表示は受信チャンネル表示になります。

VTR1、VTR2 は、設定メニューで “SELECT” にしているときだけ切り換わります。(P.37 TV の設定 ③ 70 ページ)

接続していないソースには、切り換わりません。お手持ちのカーステレオのラジオを聞きたいときは、A.SEL ボタンを押して、音声を OFF にしてください。(ラジオを聞いているときでも、映像だけを切り換えることができます。(P.37 音声と映像 ①))

BSSM ボタン



音声と映像

3

チャンネルを確認する

チャンネルコール / プリセットチャンネル一覧

受信中のチャンネルやバンドなど、現在の受信状態を表示させることができます。また、現在のバンドに記憶されているチャンネルを、一覧表示させることもできます。

1 表示する

BSSM ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

チャンネルコール表示

プリセットチャンネル一覧表示

表示OFF

メモ

呼び出した表示は、8秒間表示されます。
映像にテレビやVTRを選んでいるときだけ、表示を呼び出すことができます。

チャンネルコール表示

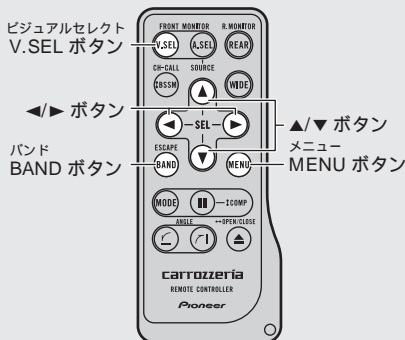


- 音声表示
- 音声連動マーク
- 映像表示
- リアモニターのソース (※その他 578 ページ)
- バンド

プリセットチャンネル一覧表示



- 記憶されているチャンネル



TVの設定

1

設定メニューの切り換えかた

設定メニューでは、本機をより便利にお使いいただくために、各機能の設定や調整を行うことができます。

1 設定メニューを表示する

MENU ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

[画質調整モード] ¹
(TVの設定 ②)

[FMモジュレーター設定モード] ²
(TVの設定 ④ 71 ページ)

[主音声/副音声切換モード] ²
(TVの設定 ⑥ 73 ページ)

ビデオ入力設定モード
(TVの設定 ③ 70 ページ)

テレビアンテナ設定モード
(TVの設定 ⑤ 72 ページ)

設定メニュー OFF

メモ

設定メニューを解除するには、BANDボタンを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

¹ AVマスターユニットと組み合わせた場合は、切り換わりません。

² AVマスターユニットやIP-BUS入力付きメインユニットと組み合わせた場合は、切り換わりません。主音声/副音声を切り換えるには (TVを見る ④ 33 ページ)

映像の色や鮮明さを調節する

色の濃さ / 色あい / 鮮明さ

映像の色の濃さ、色あい、鮮明さをお好みに合わせて調整することができます。

チェック IP-BUS MAIN UNITモード、ADD-ONモードの機能です。

1 調整したい映像を選ぶ

V.SEL ボタンを押す

(音声と映像 ① 64 ページ)

2 画質調整モードにする

MENU ボタンを押して選ぶ

(TVの設定 ①)

3 調整したい項目を選ぶ

▲または▼ボタンを押す

▲ : 上の項目を選ぶとき

▼ : 下の項目を選ぶとき



4 調整する

◀または▶ボタンを押す



調整項目	◀ 側	▶ 側
色の濃さ (COLOR)	薄くなる	濃くなる
色あい (HUE)	肌色が紫がかる	肌色が緑がかる
鮮明さ (SHARPNESS)	映像の輪郭を やわらかくする	映像の輪郭を くっきりさせる

それぞれ次の範囲で調整できます。

COLOR : - 24 ~ + 24

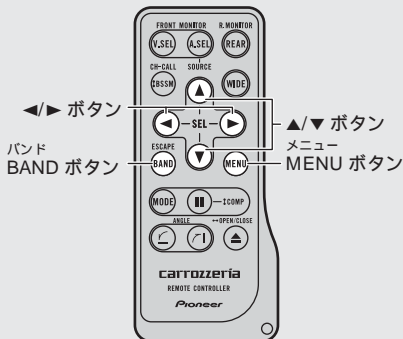
HUE : - 24 ~ + 24

SHARPNESS : - 7 ~ + 7

BAND ボタンを押して、設定メニューを解除してください。

メモ

テレビ、VTR1、VTR2、ナビゲーションの映像で、調整内容が別々に記憶されます。ナビゲーションの映像では、色の濃さと色あいは調整できません。



TVの設定
3

ビデオ入力の設定をする

VTR設定

本機に外部ビデオ機器を接続した場合、ビデオ入力の設定を“SELECT”にします。

1 ビデオ入力設定モードにする

MENU ボタンを押して選ぶ

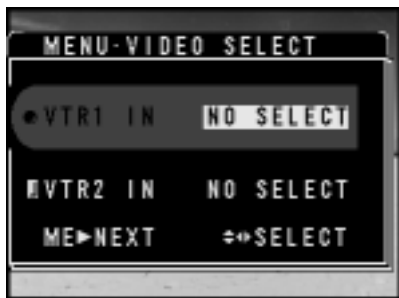
(TVの設定 ① 68 ページ)

2 調整したい項目を選ぶ

▲または▼ボタンを押す

▲ : VTR1 IN を選ぶとき

▼ : VTR2 IN を選ぶとき



3 ビデオ入力の設定を選ぶ

◀または▶ボタンを押す

▶ : SELECT を選ぶとき

◀ : NO SELECT を選ぶとき



BAND ボタンを押して、設定メニューを解除してください。

メモ

外部ビデオを接続していない場合は、ビデオ入力を“NO SELECT”にしておきます。

外部ビデオを接続していても、ビデオ入力の設定が“SELECT”になっていないと、ビデオの映像や音声に切り換わりません。

音声をFMモジュレーターで出力する

FMモジュレーター

テレビ、ビデオの音声をFM付きカーステレオで聞くことができます。

チェック ADD-ONモードの機能です。

送信周波数について

電波の強い放送局と混信しているなど、FMモジュレーターから出力される音声が聞き取りにくい場合に、他の周波数に切り換えることができます。

レベルについて

FM放送の音量に比べ、出力される音声が小さい、大きい、歪んでいると感じた場合はFMモジュレーターの出力レベルを調節することができます。

1 FMモジュレーター設定モードにする

MENU ボタンを押して選ぶ

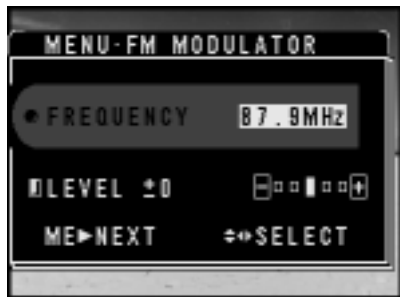
( TVの設定 ① 68 ページ)

2 送信周波数を選ぶ

◀または▶ ボタンを押す

▶ : 周波数を高くするとき

◀ : 周波数を低くするとき

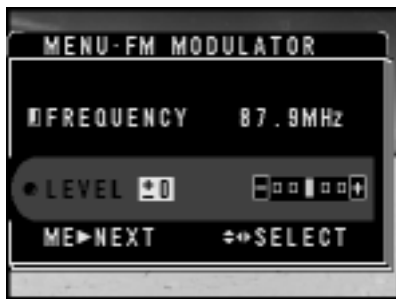


87.7 ~ 89.9 MHzの範囲で調節できます。

87.7 MHzが表示されているときに◀ボタンを押すと、OFFになります。

3 レベルを選ぶ

▼ ボタンを押す

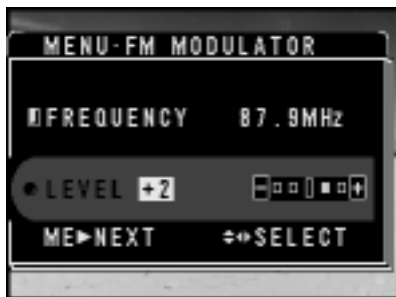


4 レベルを調整する

◀または▶ ボタンを押す

▶ : 出力レベルを大きくするとき

◀ : 出力レベルを小さくするとき

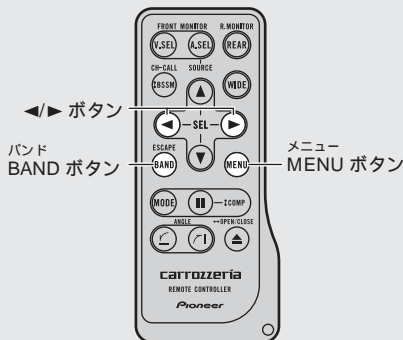


-3 ~ +3の範囲で調節できます。

BAND ボタンを押して、設定メニューを解除してください。

メモ

周波数が“OFF”になっている場合は、レベルを選ぶことはできません。



5 TVの設定 テレビアンテナの設定をする

TV アンテナの設定

ハイダウェイTVチューナーの4つのTVアンテナ接続端子のうち、実際にTVアンテナを接続した数と同じ数を設定します。

1 テレビアンテナ設定モードにする

MENU ボタンを押して選ぶ

(TVの設定 ① 68 ページ)

2 テレビアンテナ端子に接続した数に切り換える

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 数を多くするとき
- ◀ : 数を少なくするとき

表示	接続した端子の数
4 SELECT	1 ~ 4 端子全てに接続
3 SELECT	1 ~ 3 端子に接続
2 SELECT	1 ~ 2 端子に接続
1 SELECT	1 端子にのみ接続

BAND ボタンを押して、設定メニューを解除してください。



2カ国語放送の副音声を聞く

主音声 / 副音声切り換え

2カ国語放送（音声多重放送）を受信しているときは、主音声（日本語）や副音声（外国語）だけを聞くことができます。

チェック ADD-ONモードの機能です。

1 主音声/副音声切り換えモードにする

MENU ボタンを押して選ぶ

( TVの設定 ① 68 ページ)



2 聞きたい音声を選ぶ

◀または▶ ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

MAIN (主音声)

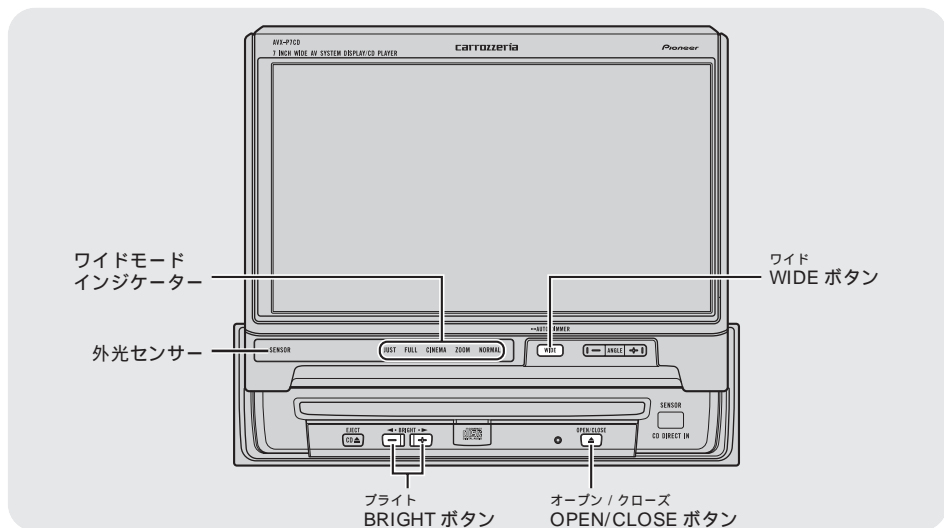
SUB (副音声)

MAIN + SUB (主・副音声)

BAND ボタンを押して、設定メニューを解除してください。

メモ

洋画やニュースの2カ国語放送のように、2種類の音声を持った放送のことを音声多重放送といいます。2カ国語放送の場合は、一般に主音声を日本語、副音声を外国語（例えば英語）で放送します。（逆の場合もあります。）



その他
1

液晶画面の明るさを自動的に調整する

オートディマー

周囲の明るさにあわせて、自動的に液晶画面の明るさを調整することができます。この機能により、常に液晶画面を見やすい明るさにしておくことができます。

1 オートディマーをONにする

WIDE ボタンを2秒以上押す
ボタンを2秒以上押すごとにON/OFFします。

オートディマーがONのとき
選んでいるワイドモードが赤く点灯し、その他のワイドモードは緑に点灯しています。



選んでいるワイドモード

オートディマーがOFFのとき
選んでいるワイドモードが赤く点灯し、その他のワイドモードは消灯しています。



選んでいるワイドモード

その他

2

液晶画面の明るさを調整する

明るさ

本機では、液晶画面自体の明るさを調整することができます。夜間、周囲が暗くなり、画面がまぶしくなったときなどに、調整してください。

1 明るさを調節する

BRIGHT ボタンを押す

- + : 明るくするとき
- : 暗くするとき

メモ

車のライトがOFFのとき (明るい昼間) と車のライトがONのとき (暗い夜間) の調整内容が別々に記憶されます。

その他

3

モニター立ち上げの設定をする

自動開閉機能

モニターがシフトレバーに当たってしまうときや、モニターの立ち上げを自動的に行いたくないときは、自動開閉機能を解除することができます。

1 車のエンジンスイッチをOFFにする



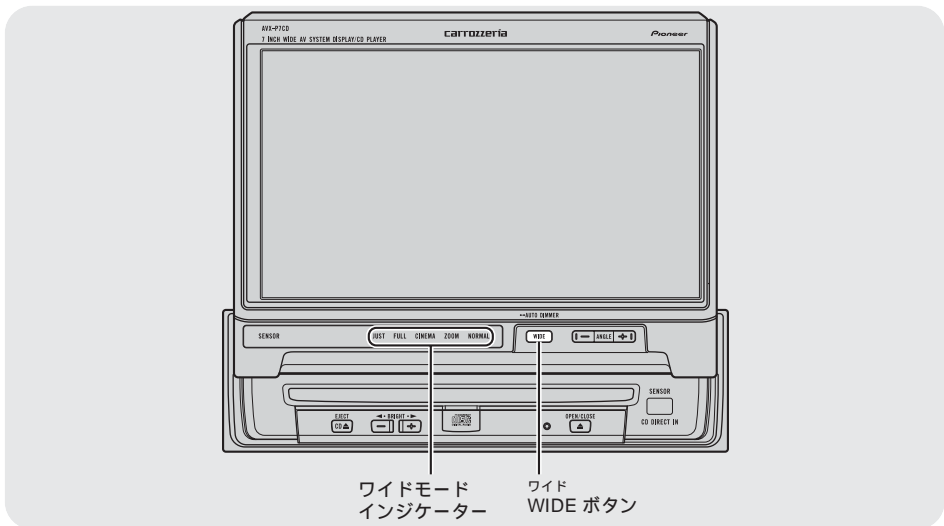
2 自動開閉機能を解除する

OPEN/CLOSE ボタンを押しながら、車のエンジンスイッチをON (またはACC) にする



自動開閉機能が解除されます。

もう一度同じ操作を行うと、自動開閉機能が設定されます。



4 ワイド画面の拡大のしかたを切り換える

ワイドモード(ジャスト/フル/シネマ/ズーム/ノーマル)

4 : 3の映像を 16 : 9の映像に拡大するときの方法を選ぶことができます。通常のテレビ番組を見るときや、映画を見るときなど、お好みに合わせて切り換えてください。

1 画面の表示方法を選ぶ

WIDE ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

- ジャスト
- フル
- シネマ
- ズーム
- ノーマル
- ジャストに戻る



選んでいるワイドモード

メモ

テレビやビデオの映像のときに、ここで設定したワイドモードの映像になります。DVDナビゲーションの映像は、ワイドモードの切り換えはできません。ワイドモードの設定内容は、映像ごとに記憶されます。

通常のテレビ放送の番組をフルで見ると、映像比率が異なるモードを選ぶと、本来の映像と見えかたに差が出ます。

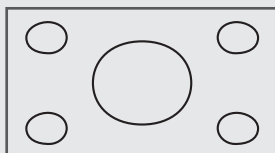
本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、画面モード切り換え機能(フル、ズームなど)を利用して、画面の圧縮、引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

「シネマ」、「ズーム」で映像を見るときは、画質が粗くなります。

AVマスターユニットを組み合わせた場合、曲名や経過時間を表示する各ソースの画面は、「FULL」以外に切り換えることはできません。

ジャスト

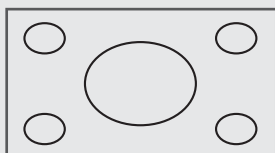
中央付近は少し、両端ほど横に拡大します。



4:3の映像をワイド画面でも違和感の少ない状態で楽しむことができます。

フル

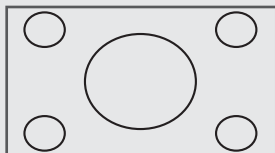
4 : 3の映像の左右だけを拡大します。



テレビの4 : 3の映像 (通常の映像) が欠けることなく、ワイド画面で楽しめます。

シネマ

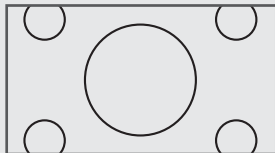
フルとズームの中間の比率で、上下を拡大します。



字幕が映像の外にある、映画サイズの映像 (横長の映像) に適したモードです。

ズーム

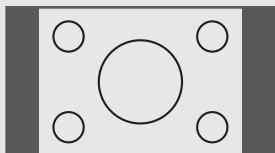
4 : 3の映像の上下、左右を同じ比率で拡大します。



映画サイズの映像 (横長の映像) に適したモードです。

ノーマル

4 : 3の映像をそのまま表示します。



通常の映像と同じですので、違和感がありません。

この映像にはこのワイドモードをおすすめします

テレビの4 : 3の映像
(通常の映像)



フルまたはジャスト
(シネマやズームにすると、映像の上下が欠けてしまいます。)

映画サイズの映像
(横長の映像)

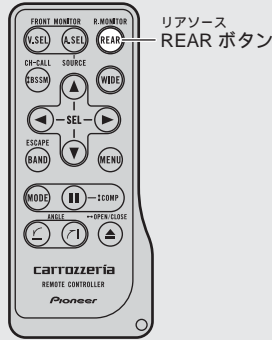


ズーム
(映画サイズの映像は、上下に黒帯が付いていますので、ズームが適しています。)

字幕が映像の外にある、映画サイズの映像
(横長の映像)



シネマ
(ズームでは欠けてしまう、映像の外の字幕を表示できます。)



その他
5

リアモニターを切り換える

RCAリアモニター出力に、後部座席専用のモニターを接続すれば、本機の映像を後部座席でも楽しむことができます。リアモニターの詳しい接続方法は(☞ 取付説明書)

リアモニター映像について

リアモニターには、映像、音声、チャンネルなどの情報や設定メニューは表示されません。(☞ TVの設定 ① 68 ページ)

リアモニターには、パーキングブレーキのON/OFFに関係なく映像が表示されますので、走行中でもテレビやビデオの映像を見ることができます。

1 リアモニターのソースを切り換える

REAR ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

TV (テレビ)

VTR1 (ビデオ1)

VTR2 (ビデオ2)

OFF



リアモニターのソース

メモ

リアモニターの映像と音声を、別々に切り換えることはできません。VTR1、VTR2は、設定メニューで“SELECT”にしているときだけ切り換わります。(☞ TVの設定 ③ 70 ページ)

安全走行のために

リアモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができる位置には、絶対に設置しないでください。

モニターの正しい使いかた

取扱上のご注意

温度が - 20 度以下または + 60 度以上になるところでは、お使いにならないでください。

直射日光の当たる状態で長時間使用すると、高温になり、モニターの液晶画面が故障する恐れがあります。できる限りモニターに直射日光が当たらないようにしてください。また、本機を使用していないときは、本体にモニターを収納してください。

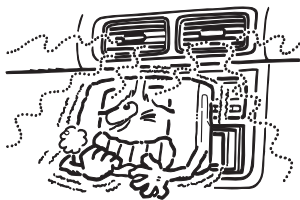


モニターの液晶画面は、車内での視認性向上のためにむき出しになっています。故障する恐れがありますので、液晶画面を強く押さないでください。

モニターを立ち上げたときに、モニターの上に物を置いたり、モニターの角度調節や立ち上げ、収納を手動で行ったりしないでください。モニターに強い力が加わると故障することがあります。



モニターを立ち上げたときに、モニターがエアコンの吹き出し口の近くに来る場合は、エアコンの風がモニターに当たらないようにしてください。ヒーターの熱で液晶が壊れたり、クーラーの冷気でモニター内部に水滴がついて故障する恐れがあります。



モニターの立ち上げや収納のときに、物をはさまないように注意してください。物をはさまると、モニターが動かなくなることがあります。モニターが動かなくなった場合は、はさまった物を取り除いてもう一度 OPEN/CLOSE ボタンを押してください。



エアバックなど安全装置装着車の場合は、安全装置の作動に支障のないようご注意ください。

液晶画面について

モニター画面の中に小さな黒い点や明るく光る点(輝点)がでることがあります。これは液晶モニター特有の現象で故障ではありません。

寒いところでお使いになるときは、電源を入れた後、しばらく画面が暗いことがあります。時間がたつと正常な明るさに戻ります。

モニター画面に直射日光が当たると、光が反射し画面が見づらくなりますので、直射日光をさえぎってください。

小型蛍光管について

液晶画面を光らせるために、モニター内部に小型蛍光管を使用しています。この蛍光管は消耗品で寿命があります。

蛍光管の寿命は約1万時間ですが、寒いところでお使いになりますと、寿命が短くなることがあります。

蛍光管が寿命になると、画面が暗くなったり、映像が映らなくなったりします。このときはお買い上げの販売店に、蛍光管の交換を依頼してください。

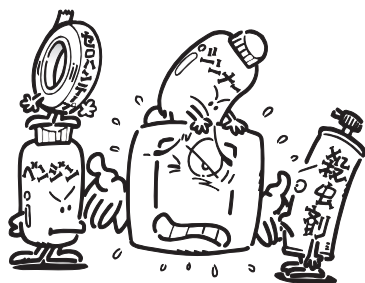
お手入れについて

画面に付いたホコリやモニターの汚れを清掃するときは、電源を切ってから、柔らかい布でから拭きしてください。

画面をふくときは、ツメで引っかかないように注意してください。画面にキズが付くと映像が見づらくなります。

化学ぞうきんをお使いの場合は、化学ぞうきんに添付の注意事項をよくお読みください。

ぬれたぞうきんは使用しないでください。また、ベンジンやアルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

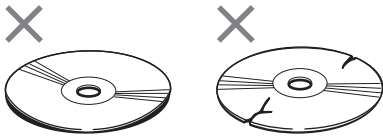


使用できるCDについて

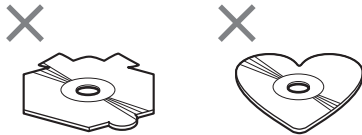
下記マークの付いているコンパクトディスク（光学式デジタルオーディオディスク）をご使用ください。



ひび、キズ、そのあるCDは使用しないでください。



特殊形状のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。



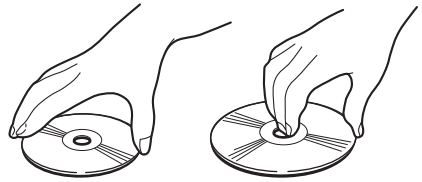
音楽用CDレコーダーで録音したもの以外のCD-Rディスクは、正常に再生できない場合があります。

音楽用CDレコーダーで録音した音楽用CD-Rディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。

CD-Rディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。

取り扱い上のご注意

CDは、下図のように、信号記録面（虹色に光っている面）をさわらないように持ってください。



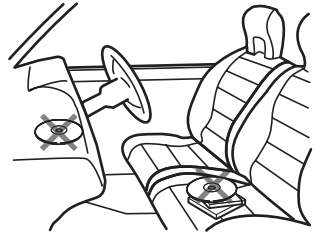
CDにキズを付けないでください。

CDにシールなどを貼り付けしないでください。



保管上のご注意

直射日光の当たるところや高温になるところには、CDを保管しないでください。



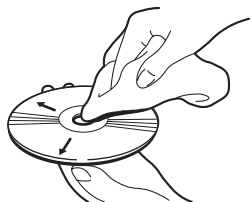
CDがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

メモ

製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

お手入れについて

CDが汚れたときは、柔らかいきれいな布でCDの内周から外周方向へ軽くふいてください。



アナログ式レコード用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。またベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。



当社では、CD用のクリーニングキット「JV-D11」を別売しています。カーステレオ販売店でお買い求めください。

CD再生の環境について

走行中、振動のショックで音飛びを起こすことがあります。

寒いとき、ヒーターを入れた直後にCD再生を始めると、本機内部の光学系レンズやCDに露が生じて、正常な再生ができないことがあります。

このようなときは、1時間ほど放置して自然に露がとれるのをお待ちください。CDに付いた露は柔らかい布でふいてください。

故障かな？と思ったら

故障かな？と
と思ったら
修理を依頼される前に、
次の表の内容をチェック
してください。

チェックしても
直らないときは
本機をリセットしてくだ
さい。(☞ その他 ⑩ 88 ページ)

それでも
直らないときは
保証書とアフターサービ
ス (☞ その他 ① 89 ページ)
をお読みになり、修理を
依頼してください。

共通項目

症 状	原 因	処 置
電源が入らない。 動作しない。 画面が正しく表示され ない。	各リード線や各コネクターが正 しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、 もう一度確認してください。 (☞ 取付説明書)
	モード切り換えスイッチの設定 が適切でない。	組み合わせたシステムに合ったモードに 切り換えてください。 (☞ はじめに ① 9 ページ)
車のエンジンスイッチを OFFにしてもモニター が収納されない。	自動閉閉機能が解除されている。	自動閉閉機能をONにしてください。 (☞ その他 ⑤ 75 ページ)
映像の色が薄い。 または濃い。	[色の濃さ] の調整が適切で ない。	[COLOR] を調整してください。 (☞ TV の設定 ② 69 ページ)
映像の色あいがおか しい。	[色あい] の調整が適切でない。	[HUE] を調整してください。 (☞ TV の設定 ② 69 ページ)
映像がぼやける。 またはチカチカする。	[鮮明さ] の調整が適切でない。	[SHARPNESS] を調整してください。 (☞ TV の設定 ② 69 ページ)
液晶画面の中に、小さ な黒点や輝点がある。	液晶特有の現象で、故障ではあ りません。	—
映像がギザギザに表示 される。	ワイド画面特有の現象で、 故障ではありません。	—
液晶画面が暗い。	[明るさ] の調整が適切でない。	[明るさ] を調整してください。 (☞ その他 ② 75 ページ)
	車内の温度が低い。	液晶モニターは、周囲の温度が低いと 画面が暗くなることがありますので、 ヒーターで車内の温度を上げてください。

共通項目 (つづき)

症 状	原 因	処 置
映像と音声が入っていない。	映像と音声を別々に切り換える設定になっている。	設定を切り換えてください。 IP-BUSモード (E38 便利な機能 ② 37 ページ) ADD-ONモード (E38 音声と映像 ① 64 ページ)
音が出ない。 音が小さい。	音量を下げている。	設定を切り換えてください。 IP-BUSモード (E38 ここだけで ② 21 ページ) (E38 ここだけで ③ 23 ページ) ADD-ONモード (E38 FM 付きカーステレオの 説明書)
	FM モジュレーターの設定が “ OFF ” になっている。 (ADD-ONモードのとき)	設定を切り換えてください。 (E38 TV の設定 ④ 71 ページ)
	FM 付きカーステレオの受信周 波数が合っていない。 (ADD-ONモードのとき)	本機の送信周波数とFM 付きカーステレオの 受信周波数を合わせてください。 (E38 FM 付きカーステレオの説明書)
カーステレオのラジオ が聞きづらい。	FM モジュレーターを使用しない ときに、FM モジュレーターの 設定が“ OFF ” 以外になっ ている。	FM モジュレーターを使用しないとき は、FM モジュレーターの設定を “ OFF ” にしてください。 (E38 TV の設定 ④ 71 ページ)

CD


症 状	原 因	処 置
CD再生中、大きな雑音が出る。 CDの再生が途中で止まる。 CDが自動的に出てくる。	CDに大きなキズやそりがある。	他のCDと交換してください。良くなればCDの不良です。
	CDが極端に汚れている。	CDの汚れをふき取ってください。 (☞ その他 ⑦ 83ページ)
	CDに曇りや水滴が付いている。	CDの曇りや水滴をふき取ってください。 (☞ その他 ⑦ 83ページ)
	CDの裏表を逆にしてセットしている。	CDのタイトル面を上にしてセットしてください。 IP-BUSモード (☞ ここだけで ① 19ページ) ADD-ONモード (☞ ここだけで ② 45ページ)

テレビ

症 状	原 因	処 置
テレビの映りが悪い。 “ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	チャンネルが合っていない。	チャンネルを正しく合わせてください。 IP-BUSモード (☞ ここだけで ③ 22ページ) ADD-ONモード (☞ ここだけで ④ 49ページ)
	放送局の電波が弱い。	他のチャンネルを選局してみてください。 IP-BUSモード (☞ ここだけで ③ 22ページ) ADD-ONモード (☞ ここだけで ④ 49ページ)
	周りに障害物があるなど受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、映りが良くなり、雑音が少なくなります。
自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。 IP-BUSモード (☞ ここだけで ③ 22ページ) ADD-ONモード (☞ ここだけで ④ 49ページ)

こんなメッセージが表示されたら

CDを正常に再生できないときは、ディスプレイ(本機またはメインユニット)にエラーメッセージが表示されます。

メッセージ(エラー番号)	メッセージが表示されるとき	処 置
「ERROR-11」「ERROR-12」 「ERROR-17」「ERROR-30」	CDが汚れているとき。	CDの汚れをふき取ってください。 ( その他 7 83ページ)
	CDにキズやひびがあるとき。	CDを交換してください。
「ERROR-14」	CD-Rを録音しないまま使用しているとき。	CD-Rは、録音してからお使いください。
「ERROR-10」「ERROR-11」 「ERROR-12」「ERROR-14」 「ERROR-17」「ERROR-30」 「ERROR-A0」	電気系、機構系の故障が考えられるとき。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、CD再生を一度やめてから、もう一度CD再生にしてください。
「HEAT」	本機の内部温度が高くなったとき。	内部温度が下がるまでお待ちください。

メモ

マルチCD再生中に、上記以外のエラーメッセージが表示されたときは、マルチCDの取扱説明書をご覧ください。

本機を初期状態に戻すことができます。

リセットボタンについて

リセットボタンを押すと、本機のマイコンが初期状態（ご購入直後の状態）に戻ります。次のようなときに、リセットボタンを押してください。

接続が終わった後。

モードスイッチを切り換えたとき。

本機が正しく動作しないとき。

ディスプレイが正しく表示されないとき。

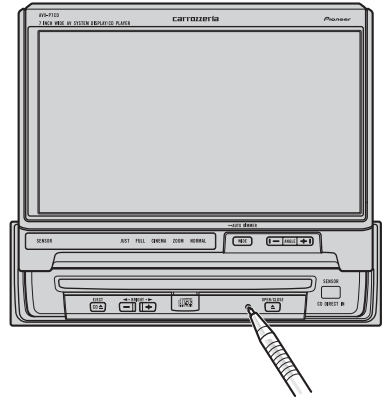
リセットボタンを押すと、本機の記憶（各種設定や記憶させたチャンネルなど）が消去されます。もう一度、セットしなおしてください。

リセットボタンを押す前に

モニターのリセットボタンを押すと、約5秒後、自動的にモニターの立ち上げ/収納動作をします。動作に支障がないか確かめてから、リセットボタンを押してください。

1 本体をリセットする

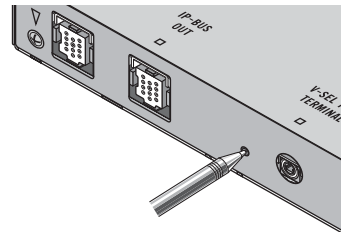
ペン先などでリセットボタンを押す



約5秒後にモニターが自動的に立ち上げ/収納動作をします。

2 TVチューナーをリセットする

ペン先などでリセットボタンを押す



メモ

リセットボタンを押すと、モニターが収納されている場合には、立ち上がります。またモニターが立ち上がっている場合には、一旦収納され、立ち上がっている状態に戻ります。

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることを確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

お願い

修理をご依頼になるときは、故障の原因を早く確実に解決するため、本体とTVチューナーの両方をお持ち込みください。

共通部

使用電源	: DC 14.4 V (10.8 ~ 15.1 V 使用可能)
アース方式	: マイナスアース方式
最大消費電流	: (本体) : 3.0 A
(TVチューナー)	: 2.0 A
外形寸法 (本体)	: (取付寸法) : 178 (W) × 50 (H) × 165 (D) mm (ノーズ寸法) : 170 (W) × 46 (H) × 22 (D) mm
外形寸法	: (TVチューナー) : 237 (W) × 28 (H) × 171 (D) mm
質量	: (本体) : 2.2 kg (コードユニット含まず)
(TVチューナー)	: 1.1 kg (コードユニット含まず)

CD プレーヤー部

形式	: コンパクトディスク オーディオシステム
使用ディスク	: コンパクトディスク
信号	: フォーマット : サンプリング周波数 : 44.1 kHz 量子化ビット数 : 16 ビット直線
周波数特性	: 5 ~ 20,000 Hz (± 1 dB)
S/N	: 96 dB (1 kHz) (IHF-A ネットワーク)
ダイナミック	: レンジ : 94 dB (1 kHz)
チャンネル数	: 2 (ステレオ)

ディスプレイ部

画面サイズ	: 7.0 インチワイドディスプレイ
有効表示面積	: 154 × 87 mm
有効画素数	: 336,960 画素 (1,440 × 234)
方式	: TFT アクティブマトリクス方式
使用温度範囲	: - 20 ~ + 60
保存温度範囲	: - 40 ~ + 85
スライド角度	: 調整範囲 : 約 60° ~ 110° (初期設定角度 90°)

メモ

上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

TV チューナー部

受信チャンネル	: VHF1 ~ 12 ch、UHF13 ~ 62 ch
実用感度	: 20 dB μ (1.2 μ V/75)
映像雑音	: 制限感度 : 50 dB μ
クロストーク	: 主 副 35 dB μ 以上 副 主 45 dB μ 以上
バンド数	: 2
S/N	: 55 dB (IHF-A ネットワーク)
ステレオ	: セパレーション : 25 dB 以上 (1 kHz)
外部ビデオ	: 入力レベル : 映像 : 1 Vp-p、75 雑音 : 1 Vrms/5 k
映像出力	: インピーダンス : 1 Vp-p、75 不平衡、同期負 リア
モニター出力	: 映像出力 : 1 Vp-p、75 (白 100% 変調時)
音声出力	: 500 mVrms/1 k 以下 (TV100% 変調時)

FM モジュレーター部

使用周波数帯域	: 87.7、87.9、88.1、88.3、 88.5、88.7、88.9、89.1、 89.3、89.5、89.7、89.9 MHz
レベル調整範囲	: 7 ステップ (± 3)

付属品

リモコン	: 1
リチウム電池	: 1 (CR2032)
コード類	: 1 式
取付ネジ類	: 1 式
取扱説明書	: 1
取付説明書	: 1
安全上のご注意	: 1
保証書	: 1
ご相談窓口・	
修理窓口のご案内	: 1

本機は日本国内専用です。放送規格の違う外国ではご使用になれません。



この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

お客様ご相談窓口 (全国共通フリーフォン)

カスタマーサポートセンター

カーオーディオ / カーナビゲーション商品のお問い合わせ窓口

 0070-800-8181-11

カタログのご請求窓口

 0070-800-8181-33

<ご注意> PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話、および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。
修理に関しては、別添えの『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内
<http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html>

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 2001

<KYMZF/01C00000 > <CRA3199-A >